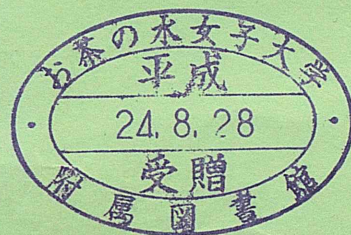


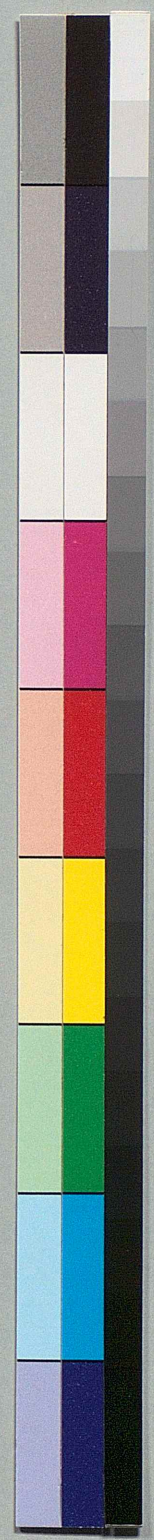
「学生便覧別冊」

昭和44年度開講科目



お茶の水女子大学

44.4.11



目 次

一般教育科目	1
人文科学系列	1
社会科学系列	2
自然科学系列	3
総合コース	4
保健体育	5
基礎教育科目	6
外国語	8
英語	8
ドイツ語	11
フランス語	13
教職教育科目	14
各学部及び大学院研究科 専門科目	

附 表

1. 授業時間割表
2. 補導委員一覧
3. 行事予定(案)

学 部	学 科	年 次	組 別	講 義 名	単 位	講 義 日	講 義 時 間	講 義 場 所
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	新入生ガイダンス	1	9/1	10:00-11:30	学生センター
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 I	2	9/2	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 II	2	9/9	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 III	2	9/16	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 IV	2	9/23	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 V	2	9/30	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 VI	2	10/7	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 VII	2	10/14	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 VIII	2	10/21	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 IX	2	10/28	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 X	2	11/4	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XI	2	11/11	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XII	2	11/18	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XIII	2	11/25	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XIV	2	12/2	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XV	2	12/9	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XVI	2	12/16	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XVII	2	12/23	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XVIII	2	12/30	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XIX	2	1/6	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XX	2	1/13	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXI	2	1/20	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXII	2	1/27	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXIII	2	2/3	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXIV	2	2/10	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXV	2	2/17	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXVI	2	2/24	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXVII	2	3/2	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXVIII	2	3/9	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXIX	2	3/16	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXX	2	3/23	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXI	2	3/30	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXII	2	4/6	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXIII	2	4/13	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXIV	2	4/20	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXV	2	4/27	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXVI	2	5/4	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXVII	2	5/11	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXVIII	2	5/18	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XXXIX	2	5/25	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XL	2	6/1	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLI	2	6/8	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLII	2	6/15	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLIII	2	6/22	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLIV	2	6/29	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLV	2	7/6	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLVI	2	7/13	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLVII	2	7/20	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLVIII	2	7/27	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 XLIX	2	8/3	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 L	2	8/10	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LI	2	8/17	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LII	2	8/24	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LIII	2	8/31	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LIV	2	9/7	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LV	2	9/14	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LVI	2	9/21	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LVII	2	9/28	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LVIII	2	10/5	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LIX	2	10/12	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LX	2	10/19	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXI	2	10/26	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXII	2	11/2	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXIII	2	11/9	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXIV	2	11/16	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXV	2	11/23	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXVI	2	11/30	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXVII	2	12/7	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXVIII	2	12/14	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXIX	2	12/21	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXX	2	12/28	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXI	2	1/4	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXII	2	1/11	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXIII	2	1/18	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXIV	2	1/25	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXV	2	2/1	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXVI	2	2/8	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXVII	2	2/15	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXVIII	2	2/22	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXIX	2	2/29	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXX	2	3/6	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXI	2	3/13	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXII	2	3/20	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXIII	2	3/27	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXIV	2	4/3	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXV	2	4/10	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXVI	2	4/17	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXVII	2	4/24	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXVIII	2	5/1	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXIX	2	5/8	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXX	2	5/15	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXI	2	5/22	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXII	2	5/29	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXIII	2	6/5	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXIV	2	6/12	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXV	2	6/19	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXVI	2	6/26	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXVII	2	7/3	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXVIII	2	7/10	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXIX	2	7/17	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXX	2	7/24	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXI	2	7/31	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXII	2	8/7	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXIII	2	8/14	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXIV	2	8/21	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXV	2	8/28	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXVI	2	9/4	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXVII	2	9/11	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXVIII	2	9/18	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXIX	2	9/25	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXX	2	10/2	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXXI	2	10/9	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXXII	2	10/16	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXXIII	2	10/23	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXXIV	2	10/30	13:00-14:30	文学部 101
文 学 部	文学部	1 年 次	1 組	英語 LXXXXXXV	2	11/6	13:00-	

一般教育科目・基礎教育科目・保健体育科目・外国語科目・教職教育科目等授業時間

()印は前期, []印は後期, 無印は通年, ㊦は人文系列, ㊧は自然系列, ㊨は教職教育科目

区分	1 8.30 ~ 9.20	2 9.20 ~ 10.10	3 10.20 ~ 11.10	4 11.10 ~ 12.00	5 13.10 ~ 14.00	6 14.00 ~ 14.50	7 15.00 ~ 15.50	8 15.50 ~ 16.40		
月	㊦(心) 理学 小口 (新1) (基礎化学 II 立花) (31)	㊦(教育心理) 坂本 (講堂) [青年心理 藤永] (〃)	㊦(法) 学 I 井上 (新1) ㊦(経) 済 学 II 柴垣 (23) [基礎動物学 II 塚] (別3) ㊦(論) 理 学 石河 (別4) ㊦(教) 育 社 会 学 (別1)	基礎数学 I 林田 (別1) (基礎植物学 I 塚本) (23)	小学校教材研究	体実英・教 I (林) [興水]	体実食・被 I (林) [興水]	体実化・生 I (熱田) [熱田]	体実数・物 I (熱田) [熱田]	
火	英語文 II A 宮川 (別4) 〃 〃 〃 II B 石渡 (21) 〃 〃 〃 I A 長谷川 (別2) 〃 〃 〃 I B 武井 (新2) 英会話全 II I 武井 (別3) 〃 〃 〃 II I 上野 (別5) 〃 〃 〃 II B 岩崎 (別1)	英 語 文 II A 酒本 (別3) 〃 〃 〃 II B 海老根 (21) 〃 〃 〃 II C 武井 (別1) 〃 〃 〃 II A 宮川 (20) 〃 〃 〃 II B 外山 (30) 〃 〃 〃 II C 長谷川 (別2) 〃 〃 〃 II B 池田 (31) 独 語 理 II B 小浜 (新2) 〃 〃 〃 I A(文) 志田 (別4) 〃 〃 〃 I A(文) 本田 (32) 〃 〃 〃 I A(文・説) 中川 (別5)	英語文 II A 酒本 (別3) 〃 〃 〃 II B 海老根 (21) 〃 〃 〃 II C 武井 (別1) 〃 〃 〃 II A 宮川 (20) 〃 〃 〃 II B 外山 (30) 〃 〃 〃 II C 長谷川 (別2) 〃 〃 〃 II B 池田 (31) 独 語 理 II B 小浜 (新2) 〃 〃 〃 I A(文) 志田 (別4) 〃 〃 〃 I A(文) 本田 (32) 〃 〃 〃 I A(文・説) 中川 (別5)	英語文 I A 亀山 (別2) 〃 〃 〃 II B 小池 (別5) 独 語 文 II A 横溝 (別3) 〃 〃 〃 II A 上野 (20) 〃 〃 〃 I B 志田 (21) 〃 〃 〃 I B(文・説) 中川 (別4) 〃 〃 〃 I A(文・説) 石川 (別1) 〃 〃 〃 会 話 サロニック (新2)	独 語 文 II B 野村 (別2) 〃 〃 〃 I B(文) 上野 (別5) 〃 〃 〃 家 I B(文) 原田 (別4) 仏 語 全 II A 石川 (別3)	体実哲・史・地 I (石山) [古江]	体実国・中・音 I (石山) [古江]	体実数・物 I (熱田) [熱田]	体実数・物 I (熱田) [熱田]	
水	(体育 石山) (講堂) (保健 渡辺) (講堂) ㊦(文) 学 II 石川 (別1) ㊦(家) 政 学 田辺 (23) [基礎動物学 I 荒木] (別4)	㊦(教育原理) 吉田 (新1) ㊦(教育指導) 宮田 (〃)	文 学 術 学 I 堤 (新1) ㊦(法) 学 II 町田 (別4) ㊦(経) 済 学 II 渡辺 (別3) ㊦(物) 理 学 B 本岩 (30) [基礎物理学 B 橋爪] (31) [基礎物理学 A 根] (31) [基礎化学 D 根] (別1)	独 語 理 I B(演) 宮原 (別2)	独 語 理 I A(文) 宮原 (別2) ㊦(宗) 教 学 高木 (講堂)	独 語 理 I A(文) 宮原 (別2) ㊦(宗) 教 学 高木 (講堂)	独 語 理 I A(文) 宮原 (別2) ㊦(宗) 教 学 高木 (講堂)	独 語 理 I A(文) 宮原 (別2) ㊦(宗) 教 学 高木 (講堂)	独 語 理 I A(文) 宮原 (別2) ㊦(宗) 教 学 高木 (講堂)	
木	英語文 II A 羽田 (別3) 〃 〃 〃 II B 野島 (別2) 〃 〃 〃 I B 池田 (20) 独 語 文 II A 小志 (21) 〃 〃 〃 II B 小川 (別5) 〃 〃 〃 I A(文・演) 石川 (別4) ㊦(教) 育 行 史 宮坂 (新1) [基礎化学 B 森] (〃) [基礎化学 C 細矢] (別1) [基礎化学 C 立花] (別1)	英語文 II A 羽田 (別3) 〃 〃 〃 II B 野島 (別2) 〃 〃 〃 I B 池田 (20) 独 語 文 II A 小志 (21) 〃 〃 〃 II B 小川 (別5) 〃 〃 〃 I A(文・演) 石川 (別4) ㊦(教) 育 行 史 宮坂 (新1) [基礎化学 B 森] (〃) [基礎化学 C 細矢] (別1) [基礎化学 C 立花] (別1)	英語文 II A 羽田 (別3) 〃 〃 〃 II B 野島 (別2) 〃 〃 〃 I B 池田 (20) 独 語 文 II A 小志 (21) 〃 〃 〃 II B 小川 (別5) 〃 〃 〃 I A(文・演) 石川 (別4) ㊦(教) 育 行 史 宮坂 (新1) [基礎化学 B 森] (〃) [基礎化学 C 細矢] (別1) [基礎化学 C 立花] (別1)	英語文 I A 木原 (別5) 〃 〃 〃 II B 小池 (別3) 〃 〃 〃 II C 小池 (別3) 独 語 文 I B(演) 吉田 (新2) 独 高級 (独文学演習) 杉本 (別4) 〃 〃 〃 I B(文・演) 田島 (別1) 〃 〃 〃 I A(文・説) 石川 (20) 〃 〃 〃 高級 (独文学演習) 中川 (21) 独 会 話 イングラ (別5)	英語文 I A 長谷川 [宮川] (別2) 〃 〃 〃 II C 小池 (別3) 独 語 文 I B(演) 吉田 (新2) 独 高級 (独文学演習) 杉本 (別4) 〃 〃 〃 I B(文・演) 田島 (別1) 〃 〃 〃 I A(文・説) 石川 (20) 〃 〃 〃 高級 (独文学演習) 中川 (21) 独 会 話 イングラ (別5)	独 語 家 II 杉本 (別1) 〃 〃 〃 I A(演) 吉田 (別3) 〃 〃 〃 家 I A(演) 井原 (別2) 〃 〃 〃 家 I B(演) 上野 (別4) 〃 〃 〃 全 II A 中川 (別5)	体実国・中・音 II (石山) [森下]	体実英・教 II (石山) [森下]	体実数・物 II (石山) [石山]	体実数・物 II (石山) [石山]
金	㊦(倫) 理 学 尾田 (別3) ㊦(哲) 学 石塚 (新1) ㊦(地) 学 地 鉢 (23)	(基礎物理学 A 阿坂) (別1) [基礎物理学 D 岩田] (別4)	㊦(音) 楽 大宮 (音講) ㊦(歴) 史 学 (尾鍋) [中村英] (新1) ㊦(地) 理 学 渡辺 (23) ㊦(文) 化 人 類 学 田辺 (23) ㊦(統) 計 学 魚返 (別1) ㊦(植) 物 学 津山 (別4) ㊦(動) 物 学 柳川 (別4) ㊦(地) 学 天 文 気 象 荒川 (別3) ㊦(基) 礎 植 物 学 太周 (31) ㊦(教) 育 哲 学 (20)	㊦(社) 会 学 園田 (新1)	基礎数学 II (竹内) [松田] (別1)	体実食・被 II (石山) [山中]	体実児・経 I (石山) [山中]	体実数・物 II (山中) [石山]	体実児・経 II (山中) [石山]	
土	英語理 II A 酒本 (別4) 〃 〃 〃 II B 首藤 (別3) 〃 〃 〃 家 II A 石渡 (31) 英会話全 II I ルイス (英講) 〃 〃 〃 理 I A (20) 独 語 文 I B 南原 (21) 〃 〃 〃 家 I A(演) 本田 (30) 〃 〃 〃 家 I B(演) 志田 (別5) 〃 〃 〃 文 I B(文・説) 中川 (別2)	英語理 II A 酒本 (別4) 〃 〃 〃 II B 首藤 (別3) 〃 〃 〃 家 II A 石渡 (31) 英会話全 II I ルイス (英講) 〃 〃 〃 理 I A (20) 独 語 文 I B 南原 (21) 〃 〃 〃 家 I A(演) 本田 (30) 〃 〃 〃 家 I B(演) 志田 (別5) 〃 〃 〃 文 I B(文・説) 中川 (別2)	英語理 II A 酒本 (別4) 〃 〃 〃 II B 首藤 (別3) 〃 〃 〃 家 II A 石渡 (31) 英会話全 II I ルイス (英講) 〃 〃 〃 理 I A (20) 独 語 文 I B 南原 (21) 〃 〃 〃 家 I A(演) 本田 (30) 〃 〃 〃 家 I B(演) 志田 (別5) 〃 〃 〃 文 I B(文・説) 中川 (別2)	英語家 I A 南原 (別3) 〃 〃 〃 II B 首藤 (20) 独 語 文 I B(演) 田志 (21) 〃 〃 〃 理 I A(演) 横溝 (別1) 〃 〃 〃 理 I B(演) 杉本 (別5) 〃 〃 〃 文 I A(文・説) 中川 (別2) 〃 〃 〃 理 I A(文・演) 小池 (別4)	総合コース (新1)	体実食・被 II (石山) [山中]	体実児・経 I (石山) [山中]	体実数・物 II (山中) [石山]	体実児・経 II (山中) [石山]	

注1 左表は外国語の組
分。
注2 化学は岡嶋教官の
指示により、文家
両学部をAとBの
2組に分ける。
注3 キリシャ語、ラテ
ン語、ロシア語は
文教育学部共通科
目である。外国語
科目にはできない。

区分	A	B	C
英語	文A 哲史地 理A 数 物	文B 国 体 理B 化 生	文C 教 中 音
独 語	家A	家B	
仏 語	文A 哲史地教 理A 数 物	文B 国中英体音 理B 化 生	家B
全A	文A+理	全B 文B+家	

次

1
1
2
3
4
5
6
8
8
11
13
14

昭和44年度行事予定表

月 日 (曜)	事 項
4月10日(木)	入 学 式
4月15日(火)	前学期授業開始
5月上旬	定期健康診断(2年次以上)
5月22日(木)	全 学 遠 足
5月中旬~ 6月	球 技 大 会
6月5日(木)~21日(土)	高校・中学観察参加(4年次)
7月2日(水)	授 業 終 了
7月3日(木)~17日(木)	第一期教育実習(4年次)
9月3日(水)~17日(水)	第二期 “
9月11日(木)	授 業 開 始
10月3日(金)~9日(木)	前学期末試験
10月11日(土)~20日(月)	前学期末休業
10月21日(火)	後学期授業開始
11月6日(木)	体 育 祭
11月22日(土)・23日(日)	文 化 祭
11月29日(土)	創立記念日
12月24日(水)	授 業 終 了
1月8日(木)	授 業 開 始
2月4日(水)~10日(火)	卒業(修了)予定者試験
2月20日(金)~26日(木)	第3年次以下試験
3月23日(月)	卒業(修了)式

昭和44年度補導委員・学科主任

学 科	1 年	2 年	3 年	4 年	学科主任
哲 学	尾 田	柏 原	茅 野	柳	柳
史 学	平 野	大 口	青木・和田 中村	青木・和田 中村	市 古
地 理	浅 井	正 井	式	浅 海	松 井
国 文	市 川	次 田	江 湖 山	堤	井 本
中 文	中 山	中 山	中 山	中 山	頼
英 文	外 山	野 島	酒 本	伊 吹	伊 吹
教 育	藤 永	坂 本	周 郷	森	小 口
体 育	山 中	林	松 本	石 山	渡 辺
音 楽	美 田	遠 見	大 宮	藪 田	藪 田
数 学	林 田	小 川	松 田	亀 谷	亀 谷
物 理	伊 藤	橋 爪	下 瀬	石 黒	阿 阪
化 学	岡 嶋	中 西	前 田	立 花	立 花
生 物	清水・柳田	米 田	新 関	太田・荒木	柳 田
児 童	田 口	辻 村	浅 見	津 守	津 守
食 物	中 谷	五十嵐	荒 川	吉 松	山 西
被 服	矢 部	林	石 山	柳 沢	松 川
家 経	伊 藤	湯 沢			田 辺
幼 教		村 田			

一 般 教 育 科 目

基 礎 教 育 科 目

外 国 語

教 職 教 育 科 目

人文科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
哲 学	石 塚	I	哲学についての一般的な序説の後、西洋哲学思想史を古代・中世・近世・現代にわたって。
倫 理 学	尾 田	I・II前	現代生活における倫理の問題を、科学・経済・政治・教育・芸術・宗教の側面から扱う。
論 理 学	石 塚	I・II後	一般教育としての論理学。 論理学概論：武市健人編(青春出版社)¥350
心 理 学	小 口	I・II	心理学の歴史、心理学の分野(比較心理学・発達心理学・社会心理学・異常心理学など)、心理学の応用、など。
宗 教 学	高 木	I・II	宗教現象を人間の場と社会の場における文化現象として取扱い、客観的立場から検討する。 教科書、岸本英夫：宗教学(大明堂) ¥ 680
文 学 I	堤		「文学とは何か」「文学研究とは何か」という問に対して、日本文学の側から(とくに近世文学を中心に)考えてゆく。
文 学 II	石 川		テキストに、サルトル「文学とは何か」(人文書院版)を用い、主としてフランス文学史の流れをたどりながら、「文学とは何か」の問題を考える。
国 語	市 川	I・II	文章の表現法の基本を、文章論などをよりどころとして組織的に説く。テキスト—市川「文章表現法」(明治書院) ¥ 380
芸 術 学	町 田	I・II	中国よりの影響を重視し、様式史的立場から、日本美術史を概説する。 町田甲一：概説日本美術史(吉川弘文館) ¥ 1,500
音 楽	大 宮	I・II	ワーグナー主義とその影響。とくにドイツ・ロマン派を中心として。(テキストなし)

社会科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
法 学 I	井 上	I	日本国憲法の講義。 1年を通じて、条文の解釈、判例の検討を社会的背景との関連で行なう。
法 学 II	渡辺洋	II	生活に密着した問題として家族、損害賠償、住宅、取引等の問題を取りあげ、法を身近に理解させる。テキスト六法全書。(参考)渡辺・法というものの考え方(岩波新書)
政 治 学			本年度 休講
経 済 学	柴 垣	II	資本主義社会の形成・確立・爛熟過程を歴史的・理論的に講述する。テキストは、大内ほか著「経済学概論」(東大出版会 ¥ 780)
社 会 学	園 田	II	社会学の基礎概念や理論を説明しながら、現代社会の諸問題を解明していく。松原・蓮見・山本・園田「現代日本の社会学」(時潮社) ¥ 600
歴 史 学	尾 鍋	I・II前	尾鍋輝彦、カイゼルの髭(大世界史、第19卷)(文芸春秋社) ¥ 500
歴 史 学	中村英	I・II後	20世紀の世界史。テキストを使用する予定であるが未定。後期の授業開始前に発表の予定。
文化人類学	田 辺	I・II・III後	単なる文化の学としてでなく、文化をもった動物としての人を全体的にみてゆく。
地 理 学	渡辺光	I	世界主要文化地域の概観。
家 政 学	田 辺(他)	II 後	家政学の概説と現況

自然科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
数 学	本 田	I 文・家	一般教育としての数学(数学とは何か、数学史のアウトライン、集合論と群論の初歩、重要数学者小伝。)
物 理 学	岩 田	I 文・家	一般教育としての物理学の歴史。
化 学	岡 嶋	I 文・家	一般教育としての化学通論。(2組にわたる)林太郎:化学総説 ¥ 580 裳華房。
生 物 学 (動 物)	柳 田	I 後	生物学の基本的・一般的諸問題を、動物界に主焦点を向けて、考察・論議する。
生 物 学 (植 物)	津 山	I 前	生物学の基礎的問題のトピックスを中心として話す。
地 学 (天文気象)	荒 川	I 前	一般教養としての地学通論。関口直輔:教養地学 ¥ 480 地人書館。
地 学 (地質鉱物)	式	I 後	重力、地震、火山、岩石、地層、地史など地学的諸現象に関する概論的解説。
統 計 学	魚 返	I 前	一般教育としての統計学。 P.G.ホーニル著、浅井、村上、共訳:初等統計学 ¥ 620 培風館。

総合コース

人間と環境 柳田(序説)
 外山, 浅見, 石山(彰), 戸川, (人文系列関係)
 尾鍋, 園田, 蠟山, 正井, (社会 ♪)
 渡辺(俊), 浅井, 阿武, 田辺, (自然 ♪)

一般教育関係科目の各分野にわたる共通な一つの主題について、総合的に学ぶものである。
 主として二年生対象。

履修単位数：同一年度において4単位まで履修可能で、二年度までの計8単位が一般教育科目の基礎単位として数えられるが、一系列については4単位をこえてはならない。

セミナー：総合コースの成果をあげるため前後期、各1～2回程度セミナーを行なう。

試験方法：学年度末に、各担当講師から試験問題が示され、学生はそのなかから受験科目をきめる。
 三系列のうちいずれの系列の科目を受験することも自由であるが、一系列について2単位まで、全体で計4単位を取得限度としている。

保健体育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
保健体育理論	渡 辺 林 松 本 石 山	全I前	個人衛生ならびに公衆衛生、体育の概論と女子体育活動について講義する。
体 育 実 技	林 石 山 中 熱 森 下 興 水 古 江	I・II	学内実習においては、体操・軽スポーツ・ダンス、学外実習では、水泳・スキー・スケート・ハイキングなどを行なう。 1, 2年次のあいだに正規の時間割により60時間、別に定める学内および学外の実習計画に参加して30時間を履修する。

基礎教育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
基礎数学 I	林 田	I	微積分。 竹之内脩：微積分学 ¥ 600 広川書店
基礎数学 II	竹 内	II 前	微分方程式と差分方程式。縮小写像の原理。 演算子法。
基礎数学 II	松 田	II 後	線型代数。
基礎物理学 A	阿 阪	I・II 前	質点・質点系剛体の力学。
基礎物理学 B	橋 爪	I・II 前	物理学の波動、音、光、熱に関する基本的事項。
基礎物理学 C	石 黒	I・II 後	電磁気学。
基礎物理学 D	岩 田	I・II 後	量子力学、統計力学、原子、分子理論、原子核、物性論。 金原寿郎編：基礎物理学 下 裳華房 ¥ 750
基礎化学 A	曾 根	I 前	主として無機化学の立場よりの化学現象の基本的取扱いと物質の構成。
基礎化学 B	細 矢	I 前	化学の基礎としての波動力学の入門、それによる原子分子の構造とそれらの間にはたらく力に関する講義。
基礎化学 C	立 花	I 後	化学の基礎としての古典化学熱力学の入門とそれによる相平衡と化学反応の講義。
基礎化学 D	塩 田	I 後	有機化学序論。高橋詢訳：基礎有機化学（東京化学同人）
基礎化学 II (物理化学)	立 花	II 前	熱力学関数の分子論的理解を通じて化学の基礎を考察する。44年度限りの講義。パロー物理化学(上) 東京化学同人
基礎動物学 I	荒 木	I 後	生物学の基本的諸問題を動物について
基礎植物学 I	塚 本	I 前	生物の物質代謝、エネルギー代謝について。
基礎動物学 II	柳 田	II 後	生理学的動物学への導入。本年度も“動物生理学 I”と一本で実施する。

科 目	教 官	学 年	内 容
基礎植物学 II	太 田	II 前	タンパク質・核酸についての概論。細胞の構造と機能の関連について。

(外国語)

英 語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	長谷川	文IA前	E. Hemingway: The Short Happy Life of Francis Macomber and Other Stories (南雲堂) ¥ 240
(〃)	宮 川	文IA後	
(〃)	亀 山	文 I A	Joseph Conrad (佐伯彰一 注釈) Gaspar Ruy 美宝社 ¥ 220
(〃)	長谷川	文 I B	E. Hemingway : The Killers and other Stories (南雲堂) ¥ 220 Evelyn Waugh : The Loved One (英潮社) ¥ 390
(〃)	小 池	文 I B	Carson McCullers : The Member of the Wedding (ペンギン社) ¥ 210
(〃)	小 池	文 I C	Arthur Miller : Death of a Salesman (ペンギン社) ¥ 150
(〃)	羽 田	文 I C	
(〃)	長谷川	理 I A	K. Mansfield : Her First Ball & Other Stories (英宝社) ¥ 270 Douglas Stout : Profiles of American College Students (成美堂) ¥ 230
(〃)	木 原	理 I A	増野正衛編, What I Believe (山口書店) ¥ 100
(〃)	南 方	理 I B	Ernest Hemingway (宮城注) : A Farewell to Arms Part II To Switzerland (雪溪書房) ¥ 200
(〃)	武 井	理 I B	交際, 年中行事, 趣味と娯楽, 電話と交通といったテーマ。武井: 社会の英語(This is English 第2集) 開拓社。

科 目	教 官	学 年	内 容
(〃)	南 方	家 I A	D. H. Lawrence (江島注) : The Fox (成美堂) ¥ 250
(〃)	木 原	家 I A	Kirkup : The Voice of Britain (成美堂) ¥ 250
(〃)	小 池	家 I B	Truman Capote : Breakfast at Tiffany's (ペンギン社) ¥ 210
(〃)	首 藤	家 I B	T. S. Eliot : The Modern Mind and Other Essays Criticism (橘 忠衛注釈)(南雲堂 ¥ 240)
(上 級)	酒 本	文 II A	Edith Wharton : Ethan Frome (研究社・小英文学双書) ¥ 250
(〃)	羽 田	文 II A	
(〃)	野 島	文 II B	Gore Vidal : A Thirty Evil (南雲堂) ¥ 280
(〃)	海老根	文 II B	
(〃)	小 池	文 II C	
(〃)	武 井	文 II C	本講は日常生活に密接な関係のある基礎的文型と慣習表現を学び, 英語の文法と構造, 基本的な動詞, 助動詞の使い方等。 武井: 表現と活用 (南雲堂)
(〃)	宮 川	理 II A	J. K. Gerome : Three Men in a Boat (Penguin)
(〃)	酒 本	理 II A	E. Hemingway : The Old Man and the Sea (南雲堂) ¥ 220
(〃)	石 渡	理 II B	George H. Gibson (Toward Wider Horizons) 研究社小英文叢書 ¥ 150

科 目	教 官	学 年	内 容
(上 級)	首 藤	理Ⅱ B	N. Chomsky: The Responsibility of Intellectuals (由良君美注釈) 南雲堂 ¥ 200
(〃)	石 渡	家Ⅱ A	James Kirkup (細川泉二郎注) (The Voice of Britain) 成美堂 ¥ 250
(〃)	宮 川	家Ⅱ A	J. Thurber : The Day the Dam Broke (成美堂) ¥ 200
(〃)	外 山	家Ⅱ B	George Steiner : The Retreat from the Word (大学社) ¥ 200
(〃)	小 池	家Ⅱ B	
英会話作文Ⅰ	ルイス	I	English Conversation Uol.1 (ELEC) ¥ 480
英会話作文Ⅱ	ルイス	Ⅱ	同 上

ド イ ツ 語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)		I	文法と演習は毎週それぞれ2時間ずつ通年合計2単位。読本は毎週2時間ずつ通年2単位。各級とも文法、演習、読本合計6時間4単位履修。
(〃)	杉 本	文Ⅰ A	文法 } 野本・杉本:新講ドイツ文法(同学社) ¥ 360
(〃)	杉 本	文Ⅰ A	演習 }
(〃)	吉 田	文Ⅰ A	読本 藤本:教養ドイツ語読本(同学社) ¥ 330
(〃)	志 田	文Ⅰ B	文法 } 富山:富山ドイツ文典(郁文堂) ¥ 450
(〃)	志 田	文Ⅰ B	演習 }
(〃)	吉 田	文Ⅰ B	読本 藤本:教養ドイツ語読本(同学社) ¥ 330
(〃)	宮 原	理Ⅰ A	文法 教科書未定。
(〃)	小 川	理Ⅰ A	演習 教科書未定。
(〃)	横溝節	理Ⅰ A	読本 横溝:共通ドイツ語文法(東洋出版) ¥ 550
(〃)	上野修	理Ⅰ B	文法 京野:小ドイツ文法(白水社) ¥ 330
(〃)	宮 原	理Ⅰ B	演習 教科書未定。
(〃)	杉 本	理Ⅰ B	読本 熊田・五木田:Deutsche Sprache für alle Anfänger(南江堂) ¥ 350
(〃)	志 田	家Ⅰ A	文法 } 富山:富山ドイツ文典(郁文堂) ¥ 450
(〃)	志 田	家Ⅰ A	演習 }

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	原 田	家 I B	文法 教科書未定。
(〃)	横溝節	家 I B	演習 横溝：共通ドイツ語文法 (東洋出版) ¥ 550
(〃)	井 原	家 I A, B	読本 井原・太田：現代ドイツ語読本 (第三書房) ¥ 300
(上 級)		II	上級講読は、毎週2時間で通年2単位、各級とも毎週4時間4単位履修。
(〃)	横溝政	文 II A	講読 教科書未定。
(〃)	杉 本	文 II A	講読 Th. Mann : Deutschland und die Deutschen (第三書房) ¥ 220
(〃)	志 田	文 II B	講読 E. Jahn : Eduard Mörike (第三書房) ¥ 220
(〃)	野 村	文 II B	講読 教科書未定。
(〃)	志 田	理 II A	講読 J. W. v. Goethe : Italienische Reise (郁文堂) ¥ 280
(〃)	上 野	理 II A	講読 Rodrian : Das Wolkenchaf (三修社) ¥ 280
(〃)	小 川	理 II B	講読 教科書未定。
(〃)	浜 田	理 II B	講読 H. Helbig : Die Entwicklung der deutschen Universitäten und ihre gegenwärtigen Reformen (南江堂) ¥ 200
(〃)	上野理	家 II	講読 H. Carossa : Die Schicksale Doktor Bürgers (第三書房) ¥ 230
(〃)	杉 本	家 II	講読 A. Schweizer : Ehrfurcht vor dem Leben (郁文堂) ¥ 180
独文学演習 (高 級)	杉 本	全 III IV	K. Viëtor : Goethes Anshauung von Menschen (A. Franke) ¥ 290 但し上記テキスト到着までは、W. Jaeger : Humanismus (郁文堂) ¥ 160

フ ラ ンス 語			
科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)		I	文法と演習は毎週それぞれ2時間ずつ通年合計2単位。読本は毎週2時間ずつ通年2単位。
(〃)	中 川	文 I A (文法) (読本)	井上究一郎他、プルミエ・マニュエル フランス語文法 改訂版 (文林書院) ¥ 380 (文法と読本の両時間ともに、このテキストを使用する)
(〃)	石 川	文 I A (文法) (演習)	福井芳男、丸山圭三郎著「フランス語読本一表現本位一」(改訂版)、駿河台出版社、¥ 350
(〃)	中 川	文 I B (文法) (読本)	文 I Aと同じ
(〃)	田 島	文 I B (文法) (演習)	フランス語の発音、文法演習をまず行い、その後簡単な講読演習を行なう。尚、テキストは未定である。
(〃)	小 池	理・家 I (文法) (演習)	テキスト未定。
(〃)	石 川	理・家 I (文法) (読本)	「朝倉フランス語」《文法》、白水社、¥ 340。(文法と読本の両時間ともに、このテキストを使用するから、両方のクラスに出席すること)
(上 級)		II	講読 毎週2時間ずつ通常2単位。
(〃)	中 川	全 II A	ロジェ・グルニエ、春から夏まで (朝日出版社) ¥ 220
(〃)	石 川	全 II A	斎藤一郎編“Nuit de la Liberté à la Sorbonne” 芸林書房。
(〃)	岩 崎	全 II B	20世紀フランス文学講読 (テキスト未定)。
(〃)	石 川	全 II B	スタンダール：San Francesco A Ripa. (朝日出版社) ¥ 220
仏文学演習 (高 級)	中 川	III・IV 英文 III・IV	

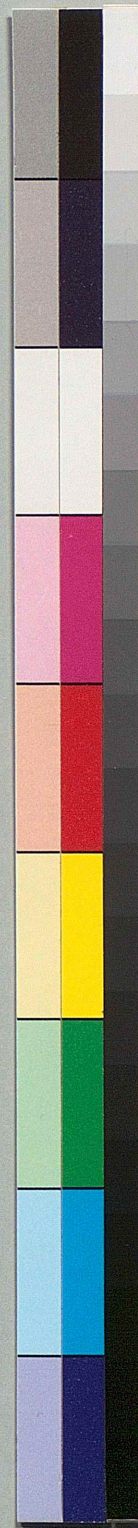
教職教育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
教 育 心 理	坂 本	Ⅲ 前	教育心理学の概説。
青 年 心 理	藤 永	Ⅲ 後	青年心理学のアウトラインを紹介し、そのなかで現代日本における青年期のもつ意味について考えてみたい。
教 育 原 理	吉 田	Ⅲ 前	教育の目的、制度、内容、方法について概略。
教 育 指 導	宮 田	I・Ⅱ後	アメリカにおけるガイダンスの系譜、諸外国における教育指導。教育指導の諸問題。
教 育 哲 学	周 郷	Ⅲ 前	変動期現代の思想としての教育哲学の諸相の究明。
教 育 方 法	未 定		
教 育 史	宮 坂	全	戦後教育史の概説、戦前教育の性格分析から始め、戦後の教育改革、新教育運動、反改革、高度成長期の教育政策と教育運動まで。
教 育 社 会 学	河 野	Ⅱ・Ⅲ前	教育社会学の意義、領域、方法について述べ、特に変動する現代社会との関連における教育の分析視角を明らかにする。
教 育 行 政 学	森	Ⅱ・Ⅲ後	学校管理と教育行政の関係を、教師の役割を中心に検討するとともに教育行政の今日的諸問題を通じて、教育行政の意義を究明する。
道 徳 教 育 の 研 究	宮 田	Ⅱ・Ⅲ前	反省期における道德教育。全面主義道德教育。特設主義道德教育。
教 科 教 育 法		Ⅲ	高・中教員希望者のため、第三年次において各教科毎に講義2単位分を履修し、第四年次のはじめ「観察参加」として1単位履修。計3単位。
(社 会)		Ⅲ 前	2分野の共通のテキスト「中学校社会科指導書」および「高等学校社会科学習指導要領」

科 目	教 官	学 年	内 容
歴 史	尾 鍋	Ⅲ 前	「中学校学習指導要領」「高等学校社会科学習指導要領」 社会科一般及び歴史を取り扱う。
地 理	大和田	Ⅲ 前	地図の話、文部省の現行社会科指導要領の解説、地理教育のあり方と地理授業を行なうに当たっての実際上の問題点などについて。
(国 語)	齊藤喜	Ⅲ 前	中・高国語科教育の目標、内容、歴史等について講義。 テキスト 中学校・高等学校国語教育研究(全国大学国語教育学会編 ¥ 350)
(英 語)	長谷川	Ⅲ 後	岡本圭次郎：英語科カリキュウム(大修館書店) ¥ 360
(中 国 語)	中 山	Ⅲ 後	話本の講読。
(保 健 体 育)	林	Ⅲ 前	保健体育科の教育方法に関する基礎理論。 文部省：学習指導要領についての研究。
(保 健)	松 本	Ⅲ 前	保健科教育の理論と実際。
(音 楽)	美 田	Ⅲ	小・中・高校の音楽教育における指導法、教材研究を行なう。
(数 学)	前 原	Ⅲ 後	
(理 科)	池 本	Ⅲ 前	理科教育の内外情勢、目標、方法、評価、防災など。
(家 庭)	山 脇	Ⅲ	家庭教育の変遷、指導目標、教育課程の編成、学習指導の計画、単元の設定および展開、学習指導の方法など。
教 育 実 習		Ⅳ	高校・中学教員のための実習(2単位)、小学校・幼稚園教員のための実習(4単位)。高中は7月と9月の予定。付属高および学外協力学校で実施。

科 目	教 官	学 年	内 容
小学校教材研究 (国語) (社会) (算数) (理科) (家庭) (音楽) (図工) (体育)	大橋 宮地 加藤 阿久沢 富平 福田 萩原 古江		小学校教員希望者のための科目。小学校の全教科8科目について、各教科の目標および指導の内容(教材・資料)と方法の研究。文部省：小学校学習指導要領。
保育内容の研究			幼稚園教員希望者のための科目、児童学科の科目および幼稚園教員養成課程の科目を履修すること。

文 教 育 学 部



哲 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
哲学概論	茅野	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	哲学の根本問題。
西洋古代中世哲学史	斎藤	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	西洋古代ギリシャの哲学史を中心にする。
西洋近代哲学史	柏原	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	西洋近代哲学史
哲学特殊講義Ⅰ	茅野	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	現代の歴史哲学。分析学派の歴史理論研究。用書。William H. Dray (ed.): Philosophical Analysis and History. (旧課程の現代哲学又は論理学の単位となしうる。)
哲学講義演習Ⅰ	茅野	Ⅲ・Ⅳ	現代現象学入門。E. Husserl: Philosophie als strenge Wissenschaft. (續講) 後期はひきつづき現代哲学関係の文献を使用する。
哲学講義演習Ⅱ	柏原	Ⅲ・Ⅳ	近世哲学における自由と悪の問題。F. W. J. Schelling, Uber das Wesen der menschlichen Freiheit
哲学講義演習Ⅲ	石塚	Ⅲ・Ⅳ	Kant: Kritik der reinen Vernunft (前年度の續き)。
倫理学概論	小倉	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	人格、価値、行為等の倫理学の基本概念を考察する。それぞれの概念の含む問題点を明らかにし「実存」の倫理的意義の探求を主眼とする。
日本倫理思想史	勝部	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	日本倫理思想の構造を分析するため種々なる型に分けて考察する。 テキスト：勝部編「日本思想の構造」至文堂 ¥ 420
倫理学講義演習	勝部	Ⅲ・Ⅳ	日本倫理思想史演習。本年度は前年度にひきつづいて明治・大正時代を扱う。なるべく岩波文庫・角川文庫など入手しやすいものをテキストに、西田・三木・和辻等。
西洋倫理思想史	尾田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	古代から中世を経て近代にいたる西洋倫理思想の流れを、現代という観点から概観する。

科 目	教 官	学 年	内 容
倫理学特殊講義Ⅱ	尾 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	徳の本質と変遷について。
東洋倫理思想史	花 山	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	印度思想、特に中国・日本に大きな影響を与えた仏教思想の根本教義から出発し、その中国・日本的展開までを含む。他の印度思想にも触れる予定。
美 学 概 論	杉 野	Ⅲ・Ⅳ	I. 美学・芸術理論の歴史 II. 美の本質 III. 美と芸術 IV. 美的体験 V. 美的対象—芸術作品 VI. 芸術体験 VII. 芸術と社会
西洋美術史	柳	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	「西洋彫刻史」——とくにギリシャより中世にいたる彫刻の歴史を、東洋ないし日本彫刻と比較しつつ、原理的に解明。
美学美術史特殊講義Ⅰ	柳	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	「印度派以後」——印象派以後の西洋絵画史の発展を、中世以前の絵画さらには東洋画と比較しつつ解明し、キュビズムに時代に及ぶ。
美学美術史特殊講義Ⅱ			本年度休講。
美学美術史講義演習	柳	Ⅲ・Ⅳ	前年度に引続き Henri Focillon の <i>Vie de formes</i> を講読。とくに建築および絵画の章。原文は仏語だが必要に応じて独語、英語の訳文を使用する。
社会哲学概論	井 上	Ⅲ・Ⅳ	来年度開講。
社会哲学特殊講義	柴 垣	Ⅲ	近代市民社会を律している原理について考察する。内容は、唯物史観における下部構造概念について。テキストは未定。
法 社 会 学	湯 沢	Ⅲ・Ⅳ	法社会学の位置および基礎理論の検討から、家族、農業、裁判等の諸問題における法と社会との関係を分析する。後期は稲本講師になる予定。
社会調査	園 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	理論と調査、社会科学方法論、社会調査の技法および実際についての講義を行ない、それと並行して適宜地域の実態調査をも実施する予定。

史 学 科			
科 目	教 官	学 年	内 容
史学概論	尾 鍋	Ⅲ	H. S. Commager, <i>The Study of History</i> . 神山四郎, 歴史入門, 講談社。
日本史概説	青 木	Ⅰ	各時代の社会構成。近世まで。
日本史史料講読	大 口	Ⅱ	テキスト未定。
日本史特講A	青 木	Ⅲ・Ⅳ	律令財政史
日本史特講B	中村一	Ⅱ・Ⅲ後	テーマ: 文化史的教材論。歴史教育における文化史的教材の位置づけとその取扱いについて講述。専門科目ではあるが、教職志望者向きである。
日本史特講C	石 井	Ⅲ・Ⅳ	日本中世史。
日本史特講D	坂 野	Ⅲ・Ⅳ	対外政策をめぐる政治対立。条約改正, 北清事変, 日露戦争, 日韓合邦辛亥革命等めぐって形成される対外硬派の運動と国内政治対立の関係。
日本史演習A	青 木	Ⅲ・Ⅳ	テキスト, 続日本紀(新訂増補国史大系本, 吉川弘文館, 前編 ¥ 1,400)
日本史演習B	大 口	Ⅲ・Ⅳ	近世の社会経済史上に共通テーマをえらび, 総合的に調査・検討を加える。
古文書学	大 口	Ⅲ・Ⅳ	近世古文書の解読。
史蹟調査	青木他	Ⅲ・Ⅳ	今年度は後期に, 日本の文化財, 文化財保護の問題を中心に講義した後史蹟調査旅行・文化財見学などを行なう予定。
考古学通論	甘 粕	Ⅲ	弥生時代・古墳時代の研究成果をとくに日本の古代国家形成史との関連において紹介し, 同時に具体例を通じて考古学研究法の理解も深めたい。
西洋史概説	中村英	Ⅰ	西洋史の各時代の諸問題について, 学説史的に論述する。

科 目	教 官	学 年	内 容
西洋史史料講読	尾 鍋	Ⅱ 前	Louis L. Snyder, The Imperialism Reader. Document and Readings on Modern Expansionism.
西洋史史料講読	平 野	Ⅱ 後	Richard Hofstadter ed.; Great Issues in American History, vol.2 : 1864-1957, (Vintage Books)
西洋史特講 A	中村英	Ⅲ	18~20世紀のイギリス政治社会史の諸問題について論述する。
西洋史特講 B	平 野	Ⅲ・Ⅳ	アメリカ西部史の諸問題。フロンティア学説史, 公有地, 農民運動等について。
西洋史特講 C	鹿 毛	Ⅲ・Ⅳ	「ファシズムと共産主義の時代」とも吹ばれている両世界大戦間期の基本的な問題を取上げることによって, 現代の革命と反革命について考える。
西洋史学演習 A	尾 鍋	Ⅲ・Ⅳ	Tom Kemp, Theories of Imperialism.
西洋史演習 B	中村英	Ⅲ・Ⅳ	19世紀のイギリス政治社会史に関する諸論文(英文)を割り当て, 講読する。
西洋史演習 C	平 野	Ⅲ・Ⅳ	南北戦争に関する史料と文献の講読。
東洋史概説	和 田	Ⅰ 前	主として, インド・東南アジア史の範囲で概説(市古教授担当の後期分と合せて4単位)
東洋史概説	市 古	Ⅰ 後	中国史研究入門。
東洋史史料講読	市 古	Ⅱ 前	魏源「聖武記」
東洋史史料講読	和 田	Ⅱ 後	ヴェトナム独立期に関するヴェトナムおよび中国史料。
東洋史特講 A	市 古	Ⅲ・Ⅳ	アヘン戦争から五・四運動にいたる中国史上の主要事件について。
東洋史特講 B	和 田	Ⅲ・Ⅳ	東南アジア史上の諸問題。

科 目	教 官	学 年	内 容
東洋史特講 C	堀	Ⅲ・Ⅳ	均田制・租庸調制の成立過程, 法規の内容, 実施情况等の考察を通じて, この制度が中国古代専制国家の支配の中でもつ意義を明かにしたい。
東洋史演習 A	市 古	Ⅲ・Ⅳ	毛沢東の政治思想について。テキストに, Schram "Mao Tse-tung" を使用。
東洋史演習 B	和 田	Ⅲ・Ⅳ	歴代宝案(沖縄の外交文書集)とその関係史料。

地 理 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
地理学概論	渡 辺	Ⅳ	地理学本質論と地理学発達史。
日本地誌Ⅰ	渡 辺	Ⅲ	日本の地形、気候、現況の歴史的背景の概観と、日本各地方の地誌的考察、聴講は地形学、気候学の学習を前提とする。
経済地理学Ⅰ	松 井	Ⅲ	日本及び世界の農業経済地理。
日本地誌Ⅱ	松 井	Ⅲ・Ⅳ前	日本の農業地域。気候学Ⅰの修了者のみ。
植物地理学	松 井	Ⅲ・Ⅳ前	自然地域の構成要素としての植生。気候学Ⅰの修了者のみ。
地理学特講	松 井	Ⅲ 前	那須野盆地の地誌。
気候学Ⅰ	浅 井	Ⅰ	下記テキストと実習・巡検により気候の理論と気候法を広く深く講じる気候学概論：福井英一郎（朝倉書店）¥ 780
陸水・海洋学	浅 井	Ⅲ・Ⅳ後	海水、熱、物質の移動と海洋観測法湖沼・人工湖、河川、地下水の理論とこれらの陸水法。人間生活、人文地理学との関連について講じる。
外国地誌Ⅰ	浅 井	Ⅱ	ヨーロッパの自然・社会・歴史を有機的に考察し、地域区分を行ってその地域差も明らかにする。スライド・プリントを多く利用する。
自然地理学実験	浅 井	Ⅲ 前	小気候学・気候統計・地下水学・湖沼学などに関して観測・実習・整理・記載の方法を器械を用いて具体的に野外をも含めて指導する。
地 質 学	浅 海	Ⅱ	地理学の基礎としての地層・岩石・鉱物の生成・分類、地史の概要。
土 壤 学	浅 海	Ⅲ	土壌の生成・分類、世界・日本における土壌地理学。
自然地理学実験	浅 海	Ⅲ	野外の地形・土壌の観察、採集土壌の室内分析実験。

科 目	教 官	学 年	内 容
地理学演習Ⅱ (独書講読)	浅 海	Ⅲ	地理学の基礎的古典文献、最近の地理学術雑誌論文より、数種を輪読。
地 形 学	式	Ⅱ	侵食地形・推積地形・構造地形・地形輪廻・地形発達史・地形分析に関する理論と実例についての説明。
地図学演習	式	Ⅱ	地形図の作成、地形図を利用する計測作図地形図の判読等の方法の説明及び実習。
写真地理学	式	Ⅲ 後	空中写真と写真測量の基礎知識及び空中写真の地理学的判読の方法と実例の解説の多少の実習を伴う。
集落地理学	正 井	Ⅱ・Ⅲ前	日本および外国の集落に関する一般的講義。村落地理学に重点をおく。
外国地誌Ⅱ	正 井	Ⅲ・Ⅳ	アングロアメリカ地誌。自然環境・人口・産業・集落・文化全般にわたる。
地理調査法Ⅰ	正 井	Ⅲ 後	人文地理学的研究に関する調査法。図上作業・統計分析・野外調査をとまなう。
都市地理学	正 井	Ⅲ 後	世界各地の都市の形態・機能・発達過程・分布に関する研究。野外調査をとまなう。
地理学演習Ⅰ (英書講読)	正 井	Ⅱ	テキスト；Preston E. James; A Geography of Man. Third Edition. (Blaisdell Publishing Co.) ¥ 2,000
政治地理学	別 技	Ⅲ・Ⅳ前	(1)政治地理学の意義 (2)境界論 (3)世界各地域における政治地理的問題の具体例 (4)いわゆる南北問題について
経済地理学Ⅱ	未 定		
交通地理学	有 末	Ⅲ 後	昭和43年度通り
気候学Ⅱ	福 井	Ⅲ 前	日本の気候についての全般的特性を明らかにした後に、主として西日本地方の気候誌についての概説を行なう。

科 目	教 官	学 年	内 容
地 図 学	岡 崎	I 前	地図の発達の歴史と地図に関する基礎的知識。 地形図の読図。地図投影法とその幾何学的作図。 武揚堂編：地形図の手引 ¥ 250
地 理 学 特 講	竹 内	III・IV後	文化地理学に関する諸問題を、ヨーロッパを中心にしてのべる。技術、宗教、言語などを、地理学においてどう取り扱うべきかを考えた

文 学 科 国文学国語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
上古・中古日本文学史	次 田	I	大和時代から平安時代までの国文学史の概説。
近古日本文学史	井 本	III	近古時代の国文学史の概説。
近世日本文学史	堤	III・IV	日本近世文学の史的展開を概観する。
国語学概論	江湖山	I	テキスト——無し。
国語法概説	市 川	III	日本文法の概説。
近代日本文学史	高 田	III	大正文学論 通史と作家論。作家論は芥川龍之介と佐藤春夫を中心とする。
国文学講義講読 I	次 田	II	万葉集巻1～巻4の代表的作品についての講義講読。テキスト——日本古典文学大系「万葉集」(一)(岩波書店) ¥ 1,000
国文学講義講読 II	阿 部	II	源氏物語、若葉上下を読む。テキストは別に指定しない。
国文学講義講読 III	森 本	I	“新古今和歌集とその周辺”と題し、新古今集を読みながら、文学史的背景や周辺をさぐる。 テキストは“校訂新古今和歌集”武蔵野書院 450 円
国文学演習 (中古)	関 根	III	勅撰集と私家集とについて
国文学演習 (近古・近世)	井 本	II	近古時代の文学作品をテキストにして、近古・近世の古典を読む練習をする。
国文学演習 (近世)	堤	III	近世小説をテキストとした演習。
国文学特殊講義 I	次 田	III・IV	古代伝承文学の研究(記紀の神話伝説をめぐって)
国文学特殊講義 II	石 田	III	源氏物語論。

科 目	教 官	学 年	内 容
国文学特殊講義 Ⅳ	木 藤	Ⅲ	歴史物語・軍記物語・史論などの主要作品を中心にして、中世における歴史文学の性格について考察する。
国文学特講Ⅴ (近代文学特講)	田 中	Ⅲ・Ⅳ	日本近代文学史の問題点を二、三とりあげ、それを中心として講述する。
国文学特講Ⅵ	大曾根	Ⅲ・Ⅳ	平安時代の漢詩文の中、特に仮名文学と関連があると思われる作品を取上げ、その意義について考えてみたい。
国語学講義演習 (その1)	江湖山	Ⅲ	万葉集を材料にするが、テキストは無し。
国語学講義演習 (その2)	市 川	Ⅱ	語彙の変遷を実証的に考察する。
国語学特殊講義 (その1)	江湖山	Ⅲ・Ⅳ	上代特殊仮名遣研究史(継続講義)。

文 学 科 中国文学中国語学専攻			
科 目	教 官	学 年	内 容
中国文学概論	戸 川	I・II	今年は隋唐を中心に講読する(国文用)隔年・本年開講。
中国語学演習A	中 山	I	基礎中国語を演習する。 テキスト、標準中国語(書籍文物流通会) ¥ 300
中国語学演習B	中 山	I	平易な中国現代文を演習する。 テキスト、現代中国語読本(光生館) ¥ 380
中国語学演習C	頼	I	「注音・阿Q正伝」(光生館) ¥ 250
中国文学講読	渡 辺	II	「莊子」使用
中国語学講読	頼	II	「入蜀記」(複写テキスト)
中国文学演習	戸 川	III	班固:「漢書」列伝の一を顔師古注を通して読解。漢語文字の訓詁・句法を学ぶ。
中国文学講読	中 山	III	明曲琵琶記を講読する。
中国語学演習	頼	III	『四庫提要叙』(複写テキスト)
中国文学演習	渡 辺	IV	『墨子問詁』使用
中国文学演習	戸 川	IV	漢魏・六朝の文学批評を原典を通じて解説。
中国語学演習	頼	IV	『毛詩正義』(プリント使用) (以上の各科目は必修。次からは選択科目)
中国文学講義 講 読	渡 辺	I	唐詩の鑑賞・批判
中国文学特講	中 山	II	清朝章回小説紅樓夢儒林外史を講義する。
中国文学特講	戸 川	II	現代文学作品。 (本年度は対象学年をⅢ年よりⅡ年に変更)
中国文学特講	黎 波	II	未定。 (本年度は対象学年をⅢ年よりⅡ年に変更)
中国文学講読	渡 辺	III	未定。 (本年度は対象学年をⅡ年よりⅢ年に変更)

科 目	教 官	学 年	内 容
中国哲学概説	小 林	Ⅲ	中国古来の哲学の中核一天や陰陽五行の説から道家の宇宙論などを究明することによって、漢民族の思考の特性を明らかにしようとする。
中国語学演習	山 井	Ⅲ	戴震(1723-1777)の伝記・学問論・哲学理論に関する資料。テキストは開講の際に指示(「語学概説」の代替)
中国文学特講	黎 波	Ⅳ	未定。

文 学 科 英文学英語学専攻			
科 目	教 官	学 年	内 容
英文学演習Ⅰ	伊 吹	Ⅰ	英国短編2・3。未定。
英文学演習Ⅱ	外 山	Ⅰ	まず英語の教文になれる意味で戯曲をとりあげ、ついで詩に親しむために有名な詩を読む予定。
英文学演習Ⅲ	木 原	Ⅱ	Lamb : Essays of Elia (山口書店) ¥150 Selections : from De Quincey (北星堂) ¥80 Austen ; Pride and Prejudice (アポロン社) ¥150, とりあえず以上を用意すること。
英文学演習Ⅳ	野 島	Ⅱ	N. Frye : The Educated Imagination (観見書林) ¥300
英文学演習Ⅴ	伊 吹	Ⅲ	十九世紀小説研究。 Henry Esmond
英文学演習Ⅵ	野 島	Ⅲ	Shakespeare : Measure for Measure (研究社) ¥600
英文学演習Ⅶ	伊 吹	Ⅳ	19世紀 Critical Essays.
英文学演習Ⅷ	酒 本	Ⅳ	Henry James : The Portrait of a Lady (英潮社・ペンギンブックス) ¥840
英語学概論	木 原	Ⅲ	J. H. Friend : An Introduction to English Linguistics (金星堂) ¥450
英文学概論	外 山	Ⅱ・Ⅲ	英文学の特質を中心にしながらも、文学とは何かという本質にふれた考察も行なって行く予定である。
英文学史Ⅰ	外 山	Ⅱ	イギリス文学史全体をひととおり扱ってその概念を得ることを目的とする。
英文学史	伊 吹	Ⅲ・Ⅳ	英国小説史
英文法演習	宮 川	Ⅰ	勝又永朗：「大学英文法」(開文社) ¥480

科 目	教 官	学 年	内 容
英 作 文 演 習	長谷川	I	英語でものを考え表現する習慣をつけたい。 Another Way to English Composition (朝 日出版社) ¥ 200
英 作 文 演 習	ルイス	II	テキストなし
英 作 文 演 習	長谷川	III	前期では国木田独歩の「春の鳥」の英訳。後 期では卒論にそなえて英語論文の書き方を学 びたい。MLA論文の手引(北星堂) ¥ 150
英 語 音 声 学	宮 川	I 前	小川芳男:『英語小発音学』(有精堂), ¥ 230
アメリカ文学史	酒 本	III	佐伯彰一『アメリカ文学史』筑摩書房 なお作品選集は研究室備えつけのものを貸与 する。
英文学特講 I (現代アメリカ詩)	新 倉	III・IV	第二次大戦以降のアメリカ詩の状況を抵観し たい。Contemporary American Poetry. (Penguin Books)
英文学特講 II	野 島	III・IV	The Modern Age (The Pelican Guide to English Literature)
英文学特講 III	大 澤	III・IV	James Joyce (安藤一郎解説注) A Portrait of the Artist as a Young Man (英潮社ペンギン・ボックス) ¥ 430
英語学特講 I	宮 川	III・IV	大塚高信編:『英語学読本』(研究社), ¥ 480 その他。
英会話演習 I	ルイス	I	Using American English (ウエザヒル)
英会話演習 II	ルイス	II	English Conversation Vol 2 (ELEC) ¥ 480

		教育学科 教育学専攻	
科 目	教 官	学 年	内 容
教育学概論	吉 田	I	教育の目的・制度・内容・方法にわたる教育 学研究のための入門。
教育史概説	宮 坂	I	欧米における代表的な教育思想家について解 説し、近代日本特に戦後の重要な教育論争を 紹介し、今日の教育問題の歴史的根源を追求 する。
教育社会学概論	河 野	II	教育社会学の意義・領域・方法について述べ、 特に変動する現代社会との関連における教育 の分析視角を明らかにする。
学校教育概論	宮 田	II	人間形成と教育。学校教育の本質。教師中心 の学校教育。児童中心の学校教育。生活中心 の学校教育。
教育心理概論	小 口	I・II	家庭教育・学校教育・社会教育における心理 学的基本問題の所在、並びにその研究方法に ついての概論。
発達心理学概論	藤 永	I	発達心理学の歴史、基本概念などを紹介し、 現在何がこの分野の問題点となるかを考える。 幼児の心理と教育:藤永保(フレーベル館) ¥ 600
教育学演習	周 郷	III・IV	テイヤール・ド・シャルダンの人間論 (le Phénomène humain) とレヴィ・ストロース の構造主義の解明。それにもとづく「教育と は何か」の探求。
教育史特講	鈴 木	前	ジャン・ジャック・ルソー『エミール』を、教育 思想史と社会思想史との両面から、分析する。
教育史演習	宮 坂	III・IV	教育学史の研究・新カント学派の教育思想(特 にナトルブを中心)から、クリーク・デュル ケームなど教育科学の発生まで。
教育社会学特講	麻 生	III・IV	エリートと教育。大衆社会におけるエリート の形成という問題について教育社会学的に解 明する。麻生:エリートと教育。(福村出版)

科 目	教 官	学 年	内 容
教育社会学演習	河 野	Ⅲ・Ⅳ	「日本教育の診断」 現下日本の教育問題について、教育社会学的検討を加える。
教育行政学	森	Ⅱ	学校管理を中心に、現代教育行政の意義を、具体的な今日の教育行政上の諸問題を通じて、概説する。
教育行政学特講	持 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教育基本権の保障に問題考察の視座をおきながら、近代公教育の基本構造と現実形態を明らかにすることを中心に、いわゆる教育計画の課題とプログラムについて検討する。
教育行政学演習	森	Ⅲ・Ⅳ	戦後教育政策史、わが国に限らず、広く諸外国との比較を通じ戦後の教育政策のベクトルの方向、重み、速度等を吟味する。
教育経営学	宮 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	学級経営の系譜。学級づくりの系譜。学級経営の諸問題。
教育内容特講	柴 田	後	教科内容現代化の理論の実際について。
教育方法学	未 定		
教育方法演習	宮 田	Ⅲ・Ⅳ	わが国の学習指導及び生活指導に関する著作十数冊を選んで発表する。
教育心理学特講	未 定		
教育心理演習	小 口	Ⅲ・Ⅳ	主題—創造性の心理学的研究。
視聴覚教育	坂 本	Ⅱ・Ⅲ前	視聴覚教育学の理論および方法、その base となる視聴覚コミュニケーションと学習との関係の理解と解釈。
視聴覚教育演習	坂 本	Ⅲ・Ⅳ後	視聴覚教育の技術研究。研究書講読。教育現場に参加して、新しい視聴覚資料と機器の解明につとめたい。

科 目	教 官	学 年	内 容
視聴覚教育	中 野	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教授・学習過程における映像の機能を検討するとともに、教育工学の観点から視聴覚教育の具体的課題を検討する。
教育測定学	高 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	初歩的な統計的処理法の解説から出発して、相関分析法、尺度構成法、診断の理論、テスト理論など、教育測定の基礎的手法を取り上げる。
教育哲学特講	中 内	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	近世以降の日本における教育の諸カテゴリーの成立の変容の過程を、なるべく、教育実践、なかんずく学校教育の発展過程との関係で明らかにする。
社会心理学	未 定		
実験心理学	未 定		
実験心理学演習	藤 永	Ⅲ・Ⅳ	心理学の基本的な実験手法。テスト法、調査法などについて実習と講議とを行う。実験とテスト（四訂版）(心理学実験指導研究会) ¥ 800
臨床心理学	内 山	Ⅱ・Ⅲ	異常人格、不適応行動等の諸問題について、諸種の心理診断および心理治療の基礎理論、テスト技法、心理臨床等を講述する。
応用心理学	永 野	Ⅲ・Ⅳ前	最近の言語心理学の解説、ならびに教授・学習過程における言語と思考の問題の分析。
社会教育論	小 川	Ⅲ・Ⅳ前	「権利としての社会教育」—その理論と現実について究明していく。 小川・倉内編『社会教育講義』(明治図書) ¥ 450、をテキストに使用。

教育学科 体育学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
体育学演習	林	Ⅲ・Ⅳ	ホモ・ルーデンスの講読。 Bucher, C. A. : Foundation of Physical Education.
日本体育史	林	Ⅱ 後	近世日本体育発達史 —主として学校体育について—
西洋体育史	林	Ⅱ 前	欧米に於ける体育思想史
体育心理学	石山	Ⅲ 前	主として体育における技術学習の心理について講述する。
体育心理学実験	石山	Ⅲ 後	基礎的実験を行ない、操作、過程の観察および結果の処理を練習する。また、文献によって実験による研究法を考察する。
体育測定学	石山	Ⅲ 前	体育における測定・評価の意義、目的、対象および操作。
女子体育論 (舞踊特講)	松本千	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	
体育運動学	石山	Ⅰ 後	“遊び”の理論。
体育運動学	林	Ⅱ	運動文化と女子の身体適性。
舞 踊 論	山中	Ⅰ 後	舞踊史・舞踊美・舞踊の本質について。
女子スポーツ論	石山	Ⅰ 前	女子スポーツの性格とその取扱いについて講述。
健康教育概論	松本	Ⅱ 後	学校保健を中心に講述。
解 剖 学	伊藤	Ⅱ 後	運動器の神経解剖を中心としてこれに関連する骨格・筋肉・脈管・神経系の形態学的説明。また動物解剖の実習及び人体解剖の見学を行う。
生 理 学	渡辺	Ⅱ 前	生理学概論及び運動に直接関連する循環器系について講述する。

科 目	教 官	学 年	内 容
生 理 学 Ⅱ	渡 辺	Ⅱ 後	教育生理学的な考え方の下に、生理学と心理学の橋渡しとなるような接近をする。
生 理 学 実 験	渡 辺	Ⅲ	現象として自分達の生体反応を学びそこから生体内の関係を知る。
衛 生 学	松 本	Ⅱ 前	環境衛生・食品衛生を中心に講述。
衛生学実習	松 本	Ⅲ	隔週毎に環境衛生測定法の実習。
体育管理及び施設	未 定		
体育史演習	林	Ⅱ 後	女子体育の発達について日本及び外国の資料研究。
体育心理学特講	鈴木	後	特に精神衛生に関連し、体育の心理学的特質や心理診断、心理療法などを中心とする。
体育運動各論 (第Ⅰ類)	西	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
体育運動各論 (第Ⅱ類)	林	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	テニス型・野球型のボールゲームとシーズン・スポーツ(水泳、スキー、スケート)の基本的技術およびその指導法。
体育運動各論 (第Ⅱ類)	石山	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	バスケットボール型球技の基礎技術およびゲームの実際と理論。
体育運動各論 (第Ⅱ類)	石山	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	各種競技規則の解説とリードアップゲームの扱い方。
体育運動各論 (第Ⅱ類)	郷 守	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	6人制バレーボールの各種技術及びゲームのすゝめ方、ルール構成と審判法について理論と技術を高める。
体育運動各論 (第Ⅱ類)	山 本	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	陸上競技全般にわたって基礎技術の修得ならびに指導法の解説をする。
体育運動各論 (第Ⅲ類A)	山 中	Ⅰ・Ⅱ	舞踊表現のための基本的な動きの実技指導。

科 目	教 官	学 年	内 容
体育運動各論 (第Ⅲ類B)	山 中	Ⅲ・Ⅳ	舞踊創作の段階的な実技指導。 舞踊の実際的な実技指導(学校ダンス・マス ゲーム・作品の鑑賞等)
女子身体論	渡 辺	Ⅱ 後	性差の生物学的基礎と社会的効用性について。
医学概論	渡 辺	Ⅳ 前	主として病現学について講述する。
体育生理学	渡 辺	Ⅱ 後	身体動作における反射機構を中心として講述 する。
公衆衛生学Ⅰ類	松 本	Ⅱ 前	疫学および防疫論, 老人衛生, 精神衛生を主 として講述。
公衆衛生学Ⅱ類	松 本	Ⅱ 後	産業衛生, 都市・農村衛生, 衛生行政, 衛生 統計, 社会保障を主として講述。
公衆衛生学演習	松 本	Ⅲ	公衆衛生学における調査の理論と実際につい て演習。
発 育 論	鈴 木	Ⅲ・Ⅳ	タナーの編んだ人間の発育についての原書講 読を中心として解説する。(隔年講義。)
保健体育概論Ⅰ	林	Ⅰ 後	保健や体育の内容に必須な基本的事項につき 概説し, 統括的な保健体育学についてその研 究方法を吟味し研究の態度を育成する。

		教育学科		音楽教育学専攻			
科 目	教 官	学 年	内 容	科 目	教 官	学 年	内 容
独 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	発声法及び各国語による発語, 古典浪漫, 近 代, 現代歌曲及びアリア唱法。	独 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	発声法及び各国語による発語, 古典浪漫, 近 代, 現代歌曲及びアリア唱法。
指 揮 法	藪 田	Ⅳ	合唱指揮法, 管弦楽との関係, 管弦楽指揮法, 総譜弾奏法。	指 揮 法	藪 田	Ⅳ	合唱指揮法, 管弦楽との関係, 管弦楽指揮法, 総譜弾奏法。
連 合 合 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	女声合唱におけるアンサンブルの技巧及び伴 奏楽器との関係。	連 合 合 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	女声合唱におけるアンサンブルの技巧及び伴 奏楽器との関係。
合 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	合唱指導法及び編成法, 合唱と語法との関係。	合 唱	藪 田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	合唱指導法及び編成法, 合唱と語法との関係。
基 礎 唱 法	藪 田	Ⅰ	基礎的発声法研究, ソルフェージュ。	基 礎 唱 法	藪 田	Ⅰ	基礎的発声法研究, ソルフェージュ。
ピ ア ノ	遠 見	Ⅰ	基礎奏法の研究。	ピ ア ノ	遠 見	Ⅰ	基礎奏法の研究。
ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅱ	古典派音楽の研究。	ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅱ	古典派音楽の研究。
ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅲ	浪漫派音楽の研究。伴奏法の研究。	ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅲ	浪漫派音楽の研究。伴奏法の研究。
ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅳ	近代及び現代音楽の研究。	ピ ア ノ	遠 見 坪 田 宮 島	Ⅳ	近代及び現代音楽の研究。
西 洋 音 楽 史	大 宮	Ⅱ	テキスト: Grout: A History of Western Music (一括購入); アインシュタイン: 音 楽史 (ダヴィッド社)	西 洋 音 楽 史	大 宮	Ⅱ	テキスト: Grout: A History of Western Music (一括購入); アインシュタイン: 音 楽史 (ダヴィッド社)
音 楽 学 演 習	大 宮	Ⅲ 前	テキスト: Grout: A History of Western Music (従来どおり)	音 楽 学 演 習	大 宮	Ⅲ 前	テキスト: Grout: A History of Western Music (従来どおり)
音 楽 形 式 学	大 宮	Ⅲ 後	テキスト: シュテール: 音楽形式学 (音楽 之友社)	音 楽 形 式 学	大 宮	Ⅲ 後	テキスト: シュテール: 音楽形式学 (音楽 之友社)
音 楽 美 学	大 宮	Ⅳ 前	高度な音楽分析による音楽美学的考察。(テキ ストなし)	音 楽 美 学	大 宮	Ⅳ 前	高度な音楽分析による音楽美学的考察。(テキ ストなし)
音 楽 概 論	美 田	Ⅰ	聴覚訓練及び鍵盤経験を通じて, 音楽の基礎能 力を養い, 和声学, 対位法の学習の準備をする。	音 楽 概 論	美 田	Ⅰ	聴覚訓練及び鍵盤経験を通じて, 音楽の基礎能 力を養い, 和声学, 対位法の学習の準備をする。

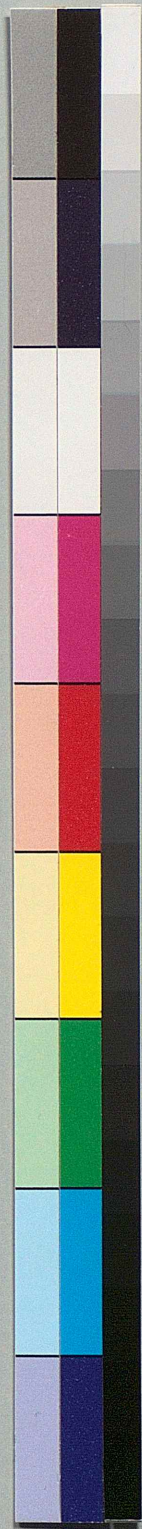
科 目	教 官	学 年	内 容
和 声 学 I	美 田	II	バッハの四声体コラールのスタイルに基いて、18世紀の和声の基礎を聴音、鍵盤経験、創作を通じて学習する。
和 声 学 II	美 田	III	19世紀及び20世紀の和声法をI・IIの方法によって学び、楽曲の和声的分析を行う。
音楽教育学演習	美 田	IV	音楽教育に関する特殊問題を原書講読、実験によって研究。
音楽教育概論	美 田	I・II	音楽教育の諸活動（歌唱、器楽、理論、鑑賞）の一般概論を扱う。隔年。
声 楽	小 泉	III・IV	発声法及び各国語による発語、古典浪漫、近代、現代歌曲及びアリア唱法。
声 楽	外 山	II・III	舞踊、体操等における応用実技としてのソルフェージュ、特に音楽的表現力と共に、リズム能力の養成。 テキストはコンコーネ50番中声用。
器 楽	外 山	II・III	ピアノ、その他の楽器による伴奏法および、師興伴奏のための基礎実技。
対 位 法	萩 原	IV 前	
作 曲 法	萩 原	IV 後	
比較音楽学	小 泉	II・III・IV前	諸民族の音楽の実態、楽器の種類や発達過程を通じて、人間にとって音楽とは何かを問う。民族音楽学の方法論、学問としての可能性も取扱う。
音楽教育学特講	徳 丸	II・III・IV	人間の音楽行動を民族音楽学、美学、心理学、社会学などの観点から考え、最後に、日本の伝統音楽で事例研究をおこなう。
音楽教育学特講	美 田	III・IV	音楽教育に関する歴史的、原理的な面を研究する。

文教育学部 共通講座

科 目	教 官	学 年	内 容
社会哲学特講	柴 垣		近代市民社会を律している原理について考察する。内容は、唯物史観における下部構造概念について。テキストは未定。(哲学科社会哲学専攻科目と共通)
法 社 会 学	湯 沢	III・IV	法社会学の位置および基礎理論の検討から、家族、農業、裁判等の諸問題における法と社会との関係を分析する。後期は稲本講師になる予定。(哲学科社会哲学専攻科目と共通。)
経 済 学	安 藤	III・IV	日本資本主義の成立・発展の過程を歴史的に解明し、かつ日本経済の現状を分析する。テキスト・安藤良雄著（現代日本経済史講義）東大出版会刊 ￥280
経済理論政策A	加 藤	II・III・IV前	戦後日本の経済構造と政策について。テキストは未定。
経済理論政策B	宇 野	II・III・IV後	微視的経済学と巨視的経済学と2つの柱のうち、古典派批判の中から生れた後者に力点をおく。国民所得の決定論とその変動論とである。
社会調査	園 田	II・III・IV	理論と調査、社会科学方法論、社会調査の技法および実際についての講義を行ない、それと並行して適宜地域の実態調査をも実施する予定。(哲学科社会哲学専攻科目と共通。)
国際法・国際政治	未 定		
言語学概論	井 上	I・II	講義と討論によって次のテーマを取り扱う。 (1)言語の本質と言語記述 (2)言語学の歴史 (3)言語学の諸分野—音韻論・文法論・意味論 (4)言語理論
ラテン語	田 中	II・III・IV	(教科書)樋口・藤井：詳解ラテン文法（研究社）￥450

科 目	教 官	学 年	内 容
ギリシャ語	田 中	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	(教科書) Wilding : Greek for Beginners (Faber & Faber) ¥ 510
ロシア語	未 定	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	

理 学 部



理学部共通科目

科目	教官	学年	内容
気象学	竹内	Ⅲ・Ⅳ前	気象学全般について触れるが、地面付近の気象に重点をおく。つまり、接地層の風について、その構造、輸送・拡散作用などを詳しく述べる。
超高層物理学	石井	Ⅲ・Ⅳ前	成層圏上部から磁気圏および惑星間空間にいたる物理。
天文学	藤田	Ⅲ・Ⅳ後	天文学一般、特に太陽系及び銀河系について。
地球物理学	高野	Ⅲ・Ⅵ前	地震学の諸問題
基礎物理学実験	伊藤 森本	I物化生	
基礎化学実験	岡嶋	I物生	化学の基礎となる実験、仁田勇編：一般化学実験 ¥ 580 共立社
基礎生物学実験	団	I物化	生物学の基礎実験法、実験技術。
電子計算機	有山	I～Ⅳ前	電子計算機概説、Assembler言語によるプログラミングの初歩など。

数 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
集 合 論	小 山	I 前	集合論の初歩
集合論演習	小 山	I 前	同上の演習
代 数 学 I	林 田	I 前	複素数, 多項式 (方程式), 行列式
代数学 I 演習	林 田 久保内	I 前	同上の演習
統 計 学	魚 返	I 前	一般教育としての統計学。P.G. ホーエル著, 浅井, 村上, 共訳: 初等統計学 ¥ 620 培風館
幾 何 学 工	立 花	I 後	ベクトル及び行列の線形代数学。
幾何学 I 演習	立 花	I 後	同上演習
微 積 分 学 I	高 村	I	極限, 微分, 積分, 弥永・亀谷・田村: 微分積分学 掌華房
微積分学 I 演習	高 村	I	同上の演習
幾 何 学 II	小 川	II	行列の階数, 及び2次形式論。
幾何学 II 演習	小 川	II	同上演習
代 数 学 II	稲 葉	II 後	整数と群についての初歩的事項。
代数学 II 演習	稲 葉 久保内	II 後	同上の演習
微 積 分 学 II	伊 関	II	多変数の微積分学の基本事項 吉田洋一: 微分積分学 (改訂版) ¥ 750 培風館
微積分学 II 演習	伊 関 前 田	II	上記講義の演習
位 相 空 間 論	亀 谷	II	位相空間の基本的概念。
位相空間論演習	亀 谷 渡 辺	II	同上の演習

科 目	教 官	学 年	内 容
代 数 学 III	稲 葉	III 前	群, 環, 体, 加群についての基本的事項。
代数学 III 演習	稲 葉 久保内	III 前	同上の演習
関 数 論 I	竜 沢	III 前	Ahlfors : Complex analysis 能代 清 : 初等函数論 培風館
関数論 I 演習	竜 沢 渡 辺	III 前	同上 I の演習。
微分方程式論 I	松 田	III 前	微分方程式の初等的解法
微分方程式論 I 演習	松 田	III 前	同上の演習
実 関 数 論	小 山	III・VI前	ルベーク積分論入門 亀谷: ルベーク積分入門 広川書店。
位 相 幾 何 学	小 川	III・IV前	(コ) ホモロジー論及びホモトピー論
応 用 解 析 学	竹 内	III・IV前	超関数論序説。
数 理 統 計 学	魚 返	III・IV後	
関 数 論 II	竜 沢	III・IV後	
微分方程式論 II	松 田	III・IV後	微分方程式の基礎定理, 線形常微分方程式
代 数 学 A	服 部	III・IV後	ガロア理論
数学特殊講義 VII	岩 村	III・IV前	フーリエ変換・フーリエ級数の一般的な理論
数学特殊講義 IV	竹 内	III・IV前	確率過程, とくに random walk と Markov chain。
数学特殊講義 VI	三 井	III・IV後	近代初等整数論
数 学 講 究	全教官	IV	

理学研究科 (数学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
古典解析学 特 論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V			
同 VI			
同 VII			
同 VIII			
近代解析学 特 論 I			
同 II	亀 谷	前	Banach Algebra の論入門

科 目	教 官	学 年	内 容
近代解析学 特 論 III			
同 IV			
同 V			
同 VI			
同 VII			
同 VIII			
代 数 学 特 論 I			
同 II			
同 III			
同 IV	服 部	前	

科 目	教 官	学 年	内 容
代数学特論 V	三 井	後	近代的初等整数論。
同 VI			
同 VII			
同 VIII	高 橋	前	da Rahm の分解定理を中心にした調和積分論
幾何学特論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V			
同 IV			
同 VII			

科 目	教 官	学 年	内 容
幾何学特論 VIII	岩 村	前	フーリエ変換・フーリエ級数の一般的な理論
応用数学特論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V			
同 IV			
同 VII			
同 VIII			熱力学の基礎理論とその発展(応用、熱力学新編初稿)
電子工学			
数理物理学			特殊関数特論、積分変換、 γ 関数、階級方程式の積分変換解法、 ψ (特殊関数)

科 目	教 官	学 年	内 容
数 学 講 究	伊 松 亀 谷 沢 島 稲 葉 林 田 立 花 小 川 高 村 竹 内 山		

物 理 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
力 学 第 一	石 黒	I	質点・質点系・剛体の力学・解析力学。 原島鮮：力労 ¥ 700 裳華房
物 理 数 学 演 習 I	下 瀬 亀 井	I	物理学の学習に必要な微積分，初等的微分方程式の解法の演習。小松・早川編：微積分学 朝倉書店 ¥ 580
力 学 演 習	石 黒 佐 藤	I	ベクトル代数，ベクトル解析，力学Iに関する演習。
力 学 第 二	阿 阪	II 前	連続物体の力学，弾性論，流体力学
原 子 物 理 学	田 中	II 後	黒体輻射・前期量子論・原子・スペクトル。
流 体 力 学	阿 阪	II・III後	粘性流体の流れ境界層，乱流，高速気流など。
電 磁 気 学 及 び 光 学 第 一	伊 藤	II	静電気，静磁気，定常電流，電流と磁気の関係，交流理論及び電磁波の諸性質。
物 理 数 学	下 瀬	II	関数論の概要，Fourier 級数，Laplace 変換，常微分方程式の解法，特殊関数。
物理学実験第一	坂 上 加 藤	II	基礎量の測定法，基礎的機械の使用法を習熟体得させると共に，実験結果の取扱法及び基礎的な実験操作法の練習。
物 理 実 験 学	坂 上	II 後 III 前	実験結果整理法，基礎量の測定法，基礎的装置使用法，実験操作工作法の基礎。
物理数学演習II	下 瀬 亀 井	II	物理数学の講義に関連した事項の演習。
電 磁 気 学 及 び 光 学 第 二	中 村	III 前	光の干渉，回折現象を波動光学的に取扱う。
熱学及び熱力学	橋 爪	III 前	熱力学の基礎原理とその簡単な応用。気体運動論初歩。
電 子 工 学	田 中	III 前	電子管（主として真空管）および回路の基礎。エレクトロニクスの基礎 ¥ 780 裳華房。
数 理 物 理 学	下 瀬	III 前	特殊関数特論，積分変換論，群論，偏微分方程式の境界値問題。◎（物理数学）

科 目	教 官	学 年	内 容
気体論及び統計力学	橋 爪	Ⅲ 後	平衡状態の統計力学の基礎と気体等への応用。 ◎「熱学及び熱力学」
量子力学	清 水	Ⅲ	シュレーディンガー方程式。マトリックス力学。 摂動論，衝突論，相対論的量子力学。 ◎（力学Ⅰ，電磁気学及び光学Ⅰ，物理数学）
物理学実験第二	田 中 大 島 所	Ⅲ	物理学実験Ⅰの後をうけて，やや高度な基本的な物理実験を実習する。 ◎物理学実験Ⅰ
物理学輪講	石 黒	Ⅲ 前	
物理学輪講	清 水	Ⅲ・後	
量子力学演習	清 水 佐 藤	Ⅲ	量子力学の講義と並行し，問題を考究する。 ◎物理数学
原子核物理学	藤 田	Ⅳ 前	核物理学の全般を概説する。
原子核特論	藤 田	Ⅳ 後	トピックスを選び詳論する。
生物物理学	岡	Ⅳ 後	現代生物物理学の概要を述べ，「生命とは何か」を物理の眼でみる。
物性論Ⅰ	森 垣	Ⅳ 前	固体物性の基礎，イオン結晶，半導体における諸現象。
物性論Ⅱ	三 宅	Ⅳ 後	固体電子論の概説および統計力学的物性論の二三の話題。
量子力学特論	品 田	Ⅳ 前	
特別研究	全教官	Ⅳ	

理学研究科（物理学専攻）

科 目	教 官	学 年	内 容
流体物理学 特 論		Ⅰ	
同		Ⅱ	
同		Ⅲ	
同		Ⅳ	
相 対 論			
数理物理学特論			
計測学特論Ⅰ			
同		Ⅱ	
電磁気学特論			
量子エレクトロ ニ ッ ク ス			
分子物理学Ⅰ			
同		Ⅱ	
同		Ⅲ	
同		Ⅳ	

科 目	教 官	学 年	内 容
統計力学特論 I			
同 II			
半 導 体 論			
素 粒 子 論 I			
同 II	下 瀬	前	弱相互作用論。
同 III			
同 IV			
核 物 理 学 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
固体物理学 I			
同 II			
同 III			

科 目	教 官	学 年	内 容
固体物理学 IV			
磁 性 体 論 I			
同 II			
低温物理学 I			
同 II			
物 理 学 特 別 講 義 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V			
特 別 研 究	阿 阪 坂 上 石 黒 清 水 下 瀬 岩 田 伊 藤 橋 爪 田 中		

化 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
基本化学実験	細 矢	I 前	化学の基礎となる実験。
無機分析化学 実 験	曾 根 中 西 藤 枝 今 井	I後・II前	主として無機物質を取扱かう諸操作と基本的 化学分析法。
分析化学第一	中 西	II 前	分析化学一般の基礎的事項。
分析化学第二	中 西	II 後	定量分析および簡単な機器分析の講義。
有機化学実験	塩 田 前 田 大 橋	II後・III前	合成と定性分析 時限 月曜午後及び火曜午後 L. F. Fieser Organic experiments 丸善 ¥ 600 畑 一夫 } 渡辺健一 } 基礎有機化学実験 丸善¥ 550
生物化学第一	阿 武	II 後 III 前	炭水化物、脂質および核酸の化学と代謝。 ◎〔有機化学1〕
物理化学第一	立 花	II	一般物理化学のうち化学平衡および溶液理論 の講義。前期では基礎化学II（物理化学） と同じ講義。 パロー 物理化学上下 東京化学同人
物理化学第二	佐 野	II後・III前	物理化学第一につづき、原子・分子論および 量子力学的観点からの物理化学。パロー、 物理化学（上・下）（藤代訳）東京化学同人
有機化学第一	塩 田	II	鎖状化合物の化学R. Q. Brewster, Organic Chemistry（日本プレントイス・ホール 繙刻 版）
機 器 分 析	中 西	III 前	機器による化学現象の計測についての解説
高 分 子 化 学	小 寺	III・IV・前	I 緒論（含各論）：II 高分子構造論：III 高 分子溶液論：IV 高分子生成論：高分子固体論。 教官作成テキスト ¥ 200。

科 目	教 官	学 年	内 容
物理化学特論	笹 田	IV 前	回折結晶学にもとづく物質構造の決定法と、 これより得られた諸物質（生体高分子をふく む）の三次元的構造。
生物化学実験	阿 武 瀬 野 川 合	III後・IV前	生体物質および酵素についての基礎的実験。
構 造 化 学	細 谷	III 後	量子化学の基礎、原子価結合法と分子軌道法、 分子の種々の励起状態についての理論的実験 的研究に関する講義。
応 用 化 学	吉 川	III 後	立体化学からみた分子の設計法。 岩波講座基礎工学「分子の設計」
生物物理化学	野 田	III 後	生体高分子の構造と機能の基礎 Martin 著 野田春彦訳 生物物理化学 ¥ 1300 東京化学同人
有機化学第二	前 田	III	環状化合物の化学、有機化学Iの続き。 R. Q. Brewster, Organic Chemistry（日 本プレントイスホール）
無機化学第一	曾 根	III	無機物質の構造、反応ならびに物性。
生物化学第二	瀬 野	III	アミノ酸、タンパク質の化学と機能および酵 素概説。
有機化学反応論	小 林	IV 後	有機化学反応のいろいろなタイプとそのメカ ニズムの説明。
化 学 演 習	全教官	IV	
特 別 研 究	全教官	IV	

理学研究科 (化学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
物性物理化学			
反応物理化学			
構造物理化学			
物理化学 特 論 I			
同 II			
物理化学 演 習 I			
同 II			
無機化学 特 論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
無機構造化学			
無機化学 演 習 I			
同 II			

科 目	教 官	学 年	内 容
天然物有機化学			
有機合成化学			
有機化学特論 I			
同 II			
同 III			
有機化学演習 I			
同 II			
生物化学特論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
物質代謝特論			
生物化学演習 I			
同 II			

科 目	教 官	学 年	内 容
分析化学特論 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
機器分析特論			
分析化学演習 I			
同 II			
特別研究	花野 根矢田 曾細田 前武野 瀬西 中岡嶋		

生 物 学 科			
科 目	教 官	学 年	内 容
動物系統学実習	団	I 前	主要な動物の代表種を材料としての解剖実習。
植物生理学 I	清 水	I・II 前	植物における物質の代謝
基本生物学実習	新 関 他	I 後	生物学の基礎となる実験操作。
植 物 系 統 学	津 山	I 後	主要な群について、その形態を学び、系統上の位置づけ。
植物系統学実習	津 山	I 後	主要群の栄養及び生殖に関する器管の構造。
植物学野外実習	津 山	I~IV	
遺 伝 学 総 論	新 関	II 後	遺伝の現象及び理論についての基礎的説明。
動物系統学 臨海実習	米 田	II 前	
植 物 系 統 学 臨海実習	津 山	II 前	
植 物 生 理 学 I 実 習	清 水	II 前	
遺伝学総論実習	新 関	II 後	
細胞生物学 I	米 田	II 前	細胞の構造、細胞の機能の生理学的側面。
細胞生物学 I 実 習	米 田	II 前	細胞の構造と機能についての生理学的または物理化学的実習。
動物生理学 I	柳 田	II 後	入門コース。各個別の生理機能および特に生理協同機作につき、一般生理学的な基本原理から比較生理学的多様性への発展を展望する。
発生学 I 実習	団	III 後	脊椎動物および無脊椎動物を材料とした正常発生の観察

科 目	教 官	学 年	内 容
細胞生理学	米 田	Ⅲ 前	細胞および細胞内諸構造にかかわる諸現象を、物理化学的または生物物理学的側面から研究する。とくに数量的扱いを強調する。
動物生理学 Ⅰ 実 習	柳 田	Ⅲ 前	
動物生理学Ⅱ	柳 田	Ⅲ 前	同Ⅰの続講。生理協同機作の要素としての生理的引き金機構に着眼して、その種々相（実行器・受容器・神経）を概観する。
動物生理化学Ⅰ	荒 木	Ⅲ 前	動物生理化学通論
植物系統学Ⅱ	津 山	Ⅲ 前	
細胞生物学Ⅱ	太 田	Ⅲ 前	タンパク質・核酸についての概論、細胞の構造と機能の関連について。 (基礎植物学Ⅱ, 理・家と併用)
細胞生物学 Ⅱ 実 習	太 田	Ⅲ 前	細胞の構造と機能についての基礎的な実験。
植物生理学Ⅲ	塚 本	Ⅲ 前	
動物心理学	丘	Ⅲ・Ⅳ前	動物心理学の歴史を辿りながら、その目的・対象・方法・研究結果などにつき概説する。
園 芸 学	浅 山	前	花卉を主として園芸植物の栽培、管理、利用法を解説する。時に応じ実習を行うことがある。2単位
発生学臨海実習	団	Ⅲ 後	臨海実験所において、海産無脊椎動物を材料として発生の観察や実験を行う。
動物生理学 Ⅱ 実 習	柳 田	Ⅲ 後	
動物生理化学 Ⅰ 実 習	荒 木	Ⅲ 後	生理化学の基本的実験
動物生理化学Ⅱ	荒 木	Ⅲ 後	

科 目	教 官	学 年	内 容
細胞化学	太 田	Ⅲ・Ⅳ後	細胞の運動と分化をおもに化学的な立場で見る。
植物生理学Ⅱ	塚 本	Ⅲ 後	
植物生理学 Ⅱ 実 習	塚 本	Ⅲ 後	
遺伝学各論	新 関	Ⅲ 後	
動物生態学	浦 本	Ⅲ・Ⅳ後	個体群生態学を中心として動物生態学を概説する。種個体群の維持メカニズム及びその集合としての群集。(動物の社会と行動の問題は除く。)
植物生態学		Ⅲ・Ⅳ後	
植物組織学	井 上	Ⅲ・Ⅳ後	維管束組織の形態、発生、系統を主として取扱う。
放射線生物学	仲 尾	Ⅲ・Ⅳ後	放射線と物質との相互作用、放射線生物物理、放射線の細胞分裂に対する作用、放射線による染色体異常、放射線の遺伝的影響、放射線による発癌、短命
生物学特別講義		Ⅲ・Ⅳ後	
人類遺伝学	大 倉	Ⅳ 前	人類遺伝学の基礎と応用。
動物生理学 臨 海 実 習	柳 田	Ⅳ 前	各種の海産動物を材料とする機能解剖学的ないし比較または一般生理学的観察や練習実験。一連の小主題からなるプログラム。
遺伝学各論実習		Ⅳ 後	
生物学演習	全教官	Ⅳ	
特 別 研 究	全教官	Ⅳ	

理学研究科 (生物学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
動物系統学特論			
動物発生学特論	団		
動物生理学特論	柳 田		
動物生理化学特論	荒 木		
植物系統学特論	津 山		
細胞生物学特論 I	米 田		
細胞生物学特論 II	太 田		適当な文献資料を選び、細胞生物学の問題を調べる。
植物生理学特論			
酵素化学	塚 本		
遺伝学特論			
細胞遺伝学特論	新 関		
微生物生理学	清 水		
生態学特論			

科 目	教 官	学 年	内 容
放射線生物学特論	仲 尾		放射線と物質との相互作用、放射線生物物理、放射線の細胞分裂に対する作用、放射線による染色体異常、放射線の遺伝的影響、放射線による発癌、短命
特別研究	荒 木 柳 田 米 田 団 津 山 太 田 塚 本 清 水 新 関		

児童学科

科 目	教 官	学 年	内 容
児童発達原理 第 1	浅 見	I 後	精神発達全般を通じる原理について概観し、 児童理解の基礎を与える。
児童発達原理 第 2	平 井	I 後	人間の発生、胎児から青年期に至る身体発育 の系統を述べ、発育に及ぼす影響因子につい て論じ、精神発達との相関について検討する。
児童発達各論 第 1	平 井	II 前	胎児期・新生児期・乳幼児期・学童期・青年 期など各期における発育・生理の特徴につい て、述べ、保育の基礎的諸問題を論ずる。
児童発達各論 第 2	津 守	II 後	とくに乳幼児および児童の精神発達について 講義する。内外の児童発達分野の諸研究の 概要。
児童発達各論 第 4	田 口	II 後	出生から学齢までの、話しことばの発達の概 要と、それに影響を及ぼす各種の要因。
児童学演習第 1	松 村	I	児童学の動向、対象と領域の一般的な知識が 習得されるように、本邦文献を中心として演 習形式で研究的にすすめる。
保育学第 1	津 守	III 前	幼児保育の学問的構成をめざして講義する。
児童福祉第 1	辻 村	II 前	わが国の明治以降における児童保護政策の発 展を、問題別に概説して、現代児童福祉の成 立を考察する。
児童福祉第 2	辻 村	II 後	現在わが国の児童福祉の概要を論述する。
児童文化第 1	坂 本	III	幼児期・児童期に適應する文化財および生活 文化の特徴についてのべ、童話、紙芝居、ス ライド、映画テレビ等の発達を概説する。

科 目	教 官	学 年	内 容
家庭教育	森 田	Ⅲ 後	第1 (1)家庭とは何か (2)家庭における人間関係 (3)家庭教育の意義と機能 (4)家庭と社会 第2 (1)家庭における問題の諸相 (2)家庭教育の実際 (3)現代家庭教育の問題点 (4)家庭教育と学校教育 第3 (1)家庭の生理と病理 (2)家庭と教育の再発見 (3)のびゆく子供と家庭 テキスト「しつけの再発見」 森田宗一・良子著 ¥ 400 日本経済新聞社発行
児童臨床心理学	松 村	Ⅲ 前	(1)臨床心理学概説。(2)適応と変革の理論と技法。 (3)精神衛生の動向。(4)Projective Test (a)。
児童精神医学	平 井	Ⅲ 後	乳児期より青年期に至る脳障害・精神障害・ 神経症・精神身体症状などにつき、原因・予 防・治療について講述し、素質と環境・正常 と異常について論ずる。
児童学実験 演習第1	平 井	Ⅱ 前	身体発育、生理に関する各種の測定法、検査 法、及び運動能力テストについて実験実習す る。
児童学実験 演習第2	浅 見	Ⅱ 前	児童学研究(主として心理面)における実験 研究のために必要な基礎的典型的実験方法の 実習ならびに調査法、評価法の訓練。
児童学実験 演習第3	浅 見	Ⅱ 後	知能測定、性格測定、教育測定、その他精神 測定法に関する概説および実施法の訓練。
児童学実験 演習第4	津 守	Ⅱ 前	幼児の行動観察を実際におこない、観察法お よび幼児の観察の要点を習得する。

科 目	教 官	学 年	内 容
児童学実験演習 第5(精神検査)	松 村	Ⅲ 後	知能検査、性格検査、その他検査の概説と演 習。(1)臨床心理学各論。(2)Projective Test (b)。(3)Role Techniques
集団力学	松 村	Ⅱ 後	(1)対人関係の心理と理論 (2)グループダイナミックスの動向。 (3)集団運営の方法。
児童統計学	肥田野	Ⅲ 後	統計の見方、推定、検定、実験計画法、標本 調査法など、調査・実験に必要な統計法につ いて述べる。
脳神経生理学	平 井	Ⅲ 前	脳神経生理の概要及び発育期における特徴に ついて述べ、それが子どもの精神発達及び行 動といかに関係するかについて論ずる。
児童発達 各論第3	西 平	Ⅱ 前	青年の生活感情・自我・対人関係・世界観の 諸問題を、現象学的・精神分析的・社会心理 学的方法により青年の生活空間という立場か ら検討する。
比較発達心理学	浅 見	Ⅲ 前	系統発達および文化人類学的な観点からひろ く発達の現象をとりあげて比較考察を行ない、 人類の特殊性について。
比較発達学演習	浅 見	Ⅲ 通	動物を用いた簡単な実験演習および外国文献 (独語・英語)の講読演習を通して比較の立場 に立つ発達に関する諸研究を通覧する。
児童学演習第2	津 守	Ⅳ 前	児童学に関する文献の講読および討議をおこ なう。
児童学演習第3	浅 見	Ⅳ 通	青年期に関する諸問題を種々の資料をもとに して論議、考察し、問題点を明らかにして青 年のあり方を考える。
児童学実験 演習第6	田 口	Ⅳ 前	子どもの言語能力、聴覚機能の診断に必要な 各種臨床検査法の理論と実技。

科 目	教 官	学 年	内 容
保育学第2	津 守	Ⅲ 後	幼児保育の实际的諸問題、原理的諸問題について、内外の文献にあたりながら、検討考察をおこなう。
保育学第3	平 井	Ⅱ 後	胎児より青年に至る各期の保育につき、一般論について述べ、その問題点を考察し、身体発育に及ぼす促進因子・阻害因子について検討する。
保育学演習	津 守	Ⅲ・Ⅳ・前後	年少幼児または発達遅滞幼児について、実習的に観察し研究をおこなう。各期の人数を制限することがあるが、前期と後期と別にとることができる。
保育技術	村 田	Ⅲ 前	幼稚園教育要領の解説(教育課程について・領域別の解説および指導法・保育項目の変遷・幼稚園の現状)
保育実習第1			
保育実習第2		Ⅲ 前	乳児院における実習を行ない、身体発育、精神発達の実態を観察し、養護について実習すると共に施設児について社会的問題を考究する。
児童臨床演習第1	平 井	Ⅳ 通	児童精神医学に関する内外の文献を読み、それらの理論について討論する。(文献は研究室において準備する。)
同 第 2	松 村	Ⅳ	(1) Counseling の理読と技法。 (2) Psychodrama の理論と技法。 (3) 集団心理療法の理論と技法。
言語障害治療学	田 口	Ⅲ 通	発音異常・どもりその他の言語障害をもつ子どもの、診断・指導の原理と方法。

科 目	教 官	学 年	内 容
児童福祉演習	辻 村	Ⅳ	施設見学を加えながら、児童福祉に関する文献を輪読する。
社会福祉	徳 永	Ⅲ 前	わが国の現状を中心に社会福祉の構造および機能体系につきその専門科学的な基礎知識を与えることを目的として講述する。
特殊児童の問題第1	辻 村	Ⅲ 前	心身障害児のうち、盲、聾、精神薄弱等の心理、教育及び福祉について概説する。
同 2	田 口	Ⅲ 後	肢体不自由児とくに脳性まひ児および重症心身障害児の、医療・教育・福祉の問題および対策。
児童文化第2	周 郷	Ⅲ 後	児童文化の定義—児童文化の恒常的な(synchronous)側面と動いている(dyachronique)側面を弁証法的にとらえて児童文化の未来像を探求する。
児童文化第3	林	Ⅲ 通	子どもの芸術教育を中心に、子どもの発達と造形のプロセスについて、具体例を基にして述べる。「造形あそび」チャイルド本社 600円
児童環境学第1	辻 村	Ⅰ 後	主として欧米の児童の生活史を通じて、児童の社会的環境に関する問題を考察する。
同 2	船 川	Ⅱ 前	家庭や、社会生活の中での小児がどのような健康状態であって、どのような問題をもっているか。この対策をどのようにするか。
幼児音楽	宮 島	Ⅱ 通	幼児の発達の一側面としての音楽—音楽面の発達、音楽文化、環境、教材、技法、治療などについて研究する。理論および実技をふくむ。

食 物 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
栄 養 化 学	稲 垣	Ⅲ 通	栄養素の化学, 生理的意義, 新陳代謝および栄養要求量などについて, ビタミンについてはその歴史, 構造, 性状, 生理作用, 所在等について。
栄養化学実験	稲 垣 五十嵐	Ⅲ 後	各種ビタミンの抽出, 化学的定量, 動物実験および, 醗酵微生物実験, 主要酵素の分離, 測定。
栄 養 生 理	小 池	Ⅲ 前	人体の構造と各臓器の機能を明らかにし, 健康の基盤と栄養の役割を考察する。テキスト: 小池五郎著「栄養生活学」¥1000 女子栄養出版部
食 品 化 学	山 西	Ⅲ 前	食品の品質を左右する色, 味, 香に関する化学。
食品化学実験	山 西 中 谷	Ⅲ 前	食品成分の分離, 定性, 定量及び簡単な有機合成。
食品加工貯蔵学	福 場	Ⅲ 前	でんぷん, 脂肪等の食品構成成分の貯蔵間の変化および最新の食品貯蔵法と食品品質の問題について主として取扱う。
調 理 学 調理学実験	松 元	Ⅲ 通	調理に関する基礎的実験及び食品の調理性に関する講義。 松元文子著「全訂調理実験」柴田書店¥450
食品学基礎実験	田 村	Ⅱ 通	化学実験の基本操作法及び食品の一般分析。 テキスト: 永原ほか「食品分析法」¥600 柴田書店
調理学実習第一	板 橋	Ⅱ 後 Ⅲ 後 Ⅳ 前	主として基礎的調理一般の講義実習 日本料理一般の講義実習。 主として中国料理一般の講義実習。

科 目	教 官	学 年	内 容
生物化学 1	荒 川	Ⅱ 通	栄養・食品・調理の基礎としての糖質・たん白質(核酸を含む)・脂質(ホルモンを含む)などの化学および物質の生化学的变化について。
有 機 化 学	中 谷	Ⅰ後 } Ⅱ前 }	食品学を学ぶための基礎となる有機化学。 内容: 分子模型。有機化合物の分離・同定。 有機化合物の性質と有機反応機構の基礎。
食品物性論	右 田	Ⅳ 前	食品のレオロジ-的性質およびその食味・調理などに対する関係のべる。
特殊栄養学	小 池	Ⅲ 後	各臓器の主な疾患の概要, 労働, 疲労, ストレス, 成長, 老化の生理と栄養の役割についての講義。テキスト: 小池五郎著「栄養生活学」¥1000 女子栄養出版部
食 品 学	山 西 藤 卷	Ⅲ	農, 水, 畜産食品についてそれらの性状, 製造中の変化, 品質などを化学的に説明考察する。山西ほか: 食品学(光生館¥650), 中西ほか: 畜産物利用学(朝倉書店¥1,000)
食品微生物学	養 田	Ⅲ 後	微生物の種類, 微生物の栄養と生理, 微生物の生育と増殖, 微生物菌体と食品, 微生物代謝と食品, 微生物酵素と食品, 醸造。
食物衛生学	興 津	Ⅲ 前	食品衛生法規の概説, 添加物の使用基準についての解説, 飲食物に起因する伝染病, 食中毒の種類, 特徴, 防止法について。
調理器具論	武	Ⅲ 前	熱調理器具(オープン・レンジ・トースター・圧力なべ), 成型器具(包丁・ミキサー), 食器などにつき, 種類, 材質, 構造, 品質, 性能について講義する。
調理学実習第2	吉 松	Ⅲ 通	主として欧風料理一般の講義実習並びに献立構成及び食卓作法
食事計画論	松 元 東 畑	Ⅲ 前	日常食献立の理論と献立作製の演習, 特に病人の場合の食事計画と献立作製に関する講義。テキストなし

科 目	教 官	学 年	内 容
食糧経済学	桜井	Ⅲ 後	日本における食べものの状況に関し、嗜好、価格、栄養等より総合的に講ずる。
食物史	石川	Ⅳ 後	近世から近代にかけての社会変革期における食生活の構造変化を、食品・調理・栄養・食事形式などの諸側面から考察する。
食物研究法	吉川	Ⅲ 前	食品の評価方法と理化学測定に関連する講義。テキスト 食品の官能検査法 ¥ 700 光琳書院 統計的方法 ¥ 1,200 農林統計協会
食物学特殊講義	古賀	Ⅳ 前	食品物性、食品物理化学及び食品機器分析法に関する概論的な講義。
食物学演習	全教官	Ⅳ 通	外国で発表された近着研究論文の解説と討論。
調理学輪講	松元 吉松	Ⅳ 通	調理学に関する文献の輪読。
統計学 統計学演習	田口		A. 被服科学コース参照。
食品学輪講	山西 中谷	Ⅳ 通	食品学に関する文献の輪読。
基礎化学Ⅱ	内田	Ⅱ 前	化学熱力学入門

被 服 学 科			
科 目	教 官	学 年	内 容
被服材料学第1	松川	Ⅰ 前	被服材料の種類。繊維、糸、織物、メリヤス等の構造と性質。繊維各論（製造、構造、性質など）。非繊維材料の概略。松川：被服材料（¥ 380 家政教育社）
被服材料学 実験第1	中島	Ⅱ 前	織物・糸の構造、繊維側面の検鏡、繊維の鑑別、防シワ性、ドレープ性、布の収縮率、わたの吸水量、布への水浸透性、布の引張り強さ、伸び率、布の帯電性、布の保温性。
染色化学第1	林	Ⅱ 前	1. 染料の部属別分類と特性、2 染料・染色物の色、3. 染色経口ウ度、4. 染色理論の概要、5. 各種繊維の染色法。矢部・林：染色概説（光生館：¥ 600）
染色整理学実験	林	Ⅱ 後	1. 染料の識別、2. 直接染料による染色、3. 酸性染料による染色、4. 水の硬度測定、5. 洗剤溶液の特性、6. 洗濯力試験、7. 蛍光増白・漂白、8. ろうけつ染。
被服整理学第1	林	Ⅰ 後	1. ヨゴレ、2. 洗淨の方法、3. 洗淨剤、4. 洗淨力試験法、5. 洗淨による被服の劣化、6. 仕上げと加工。矢部・林：被服整理学概説（光生館：¥ 600）
被服機構学	三平	Ⅱ 後	人間——被服——外界を一系とする被服の熱・水分等の伝達問題、変形・拘束問題およびそれが被服の構造との間連をシュミレーションとレオロジ理論から解説する。
被服構成学第1	柳沢	Ⅱ 後	衣服の立体構成に関する基礎的事項。
被服構成学実験 実習第1	長谷部	Ⅰ 通	衣服製作に必要な基礎的技術。
意匠学実習	某 石山	Ⅰ 前	服飾のための Basic design に重点を置く。
服飾意匠学	石山	Ⅱ Ⅲ 後	意匠の本質・要件・形式原理と適用、基礎意匠と服飾意匠など。 石山彰：服飾意匠 ¥ 1,800（光生館）

科 目	教 官	学 年	内 容
服飾美学	谷 田	Ⅱ 後	造形活動一般の中における服飾造形の位置づけ、服飾の多元的契機、服飾類型等の基本問題。
日本服飾史	谷 田	Ⅰ 後	上代より近世に至る服飾の概観。特に基本資料の検討を加える。
被服材料学第2	松 川	Ⅱ 後	合成高分子（繊維等への応用）。繊維の微細構造、化学的性質（第一の補遺）。繊維の定性、定量。紡織概略。布地の物理的性能測定法。
染色化学第2	矢 部	Ⅳ 前	1. 染料の色と化学構造、2. 色の物理的表示法、3. 染色平衡論および染色速度論。
被服整理学第2	矢 部	Ⅲ 前	1. 界面活性剤溶液の性質、2. 界面活性剤溶液の作用、3. 洗浄における機械作用、4. 洗浄過程の解析など。
基礎化学実験	松 浦	Ⅱ 通	定量分析〔天びん・容量（中和・酸化還元・沈殿）・重量）・融点・分子量測定・密度・粘度・再結晶・蒸留・抽出ほか。プリント配布。
被服衛生学	田多井	Ⅱ 前	被服の健康生活における役割りを、環境衛生、体温調節等基礎、衣服気候、生活中の衣服等応用から論じる。¥ 680最新被服衛生学（光生館）
被服構成学第3	長谷部	Ⅱ 前	衣服構成における布地の取扱いに関する諸問題。
被服構成学実験実習第2	柳 沢	Ⅲ 通	体型観察並びに衣服の立体構成に関する実験実習。
色彩学	金 子	Ⅱ 後	色彩の心理学、生理学、物理学に関する基礎的な知識の講義。テキスト：金子隆芳著「色の科学」¥ 600 みすず書房
西洋服飾史	谷 田	Ⅱ 前	古代より近世に至る西洋服飾の主流の概観。

科 目	教 官	学 年	内 容
繊維化学	松 川 中 島	Ⅲ 前	高分子化合物（重合、分子構造、結晶、溶液、物性など）。紡糸と人造繊維。天然繊維の化学。合成繊維の化学。その他。
被服材料学実験第2	松 川 中 島	Ⅲ 通	繊維の幅、顕微鏡写真。比重。屈折率。分離定量。酢化度。分子量軟化点、融点。糸、布の強伸度。剛性率。剛軟度。クリープ。圧縮性。その他。
応用物理化学	矢 部	Ⅲ 後	1. 染色化学：染着構造論、堅ロウ性の理論（光化学など）、2. 被服整理学：応用界面化学（ぬれ、乳化、分散、界面電気現象など）
染色化学実験第1	林	Ⅲ 前	1. 染料の合成（Orange II）、2. 染料の精製、3. 混合染料溶液の分光吸収曲線、4. 染色量の定量（残溶定量、ビリジン抽出）5. 各種染料の染色堅ロウ度。
染色化学実験第2	矢 部	Ⅲ 後	測色とCIE系表色の計算、染着平衡と親和力測定、巻層法による拡散定数の測定、単分子膜レンズ法、など。
被服整理学実験	林	Ⅲ 後	1. 水の硬度測定（EDTA法）2. 界面活性剤水溶液の性質（表面張力・cmcの測定・起泡力・繊維への吸着とすすぎ効果）3. 洗浄の基礎的実験。
被服科学演習第1	松 川 中 島	Ⅲ・Ⅳ通	繊維の諸性質を他の高分子化合物と関連させながら学ぶ。F. W. Billmeyer: Textbook of Polymer Science 約¥ 2,000トッパン）
被服科学演習	林	Ⅲ・Ⅳ通	Th. Vickerstaff: "The Physical Chemistry of Dyeing" および、K. Durham: "Surface Chemistry and Detergency" につき演習。
被服科学輪講	矢 部 松 川 林	Ⅳ 通	外国近着専門雑誌の要約発表と、関連する討論。

科 目	教 官	学 年	内 容
織 維 物 理 学	三 平	Ⅲ 前	糸および布の構造と物理的性質、熱、通気、透湿、収縮、シワ、触感、耐久力、疲労、摩擦に関する性質の理論と性能。
基礎物理学A・B			理学部参照
基礎化学Ⅱ		Ⅱ	理学部参照
統 計 学	田 口	Ⅲ 前	(1)調査、実験データの解析法 (a)変動、分散、自由度、F検査などの基礎的事項 (b)一元、二元配置法等簡単な実験の計画法とデータ解析法
統計学演習	田 口	Ⅲ 前	(c)測定、試験、分析、計測などにおける誤差の取扱い方 (2)統計資料の作り方と利用法 統計資料、特に身体計測統計資料の作り方とその利用の仕方について実際の例で説明する。
被服学特殊講義		Ⅲ 前	必要に応じて随時開講する。
被服構成学第2	石 田	Ⅱ 後	衣服の平面構成に関する基礎的事項。
被服構成学実験 実 習 第 3	石 田	Ⅲ 通	衣服の平面構成に関する実験実習。
被服構成計画	渡 辺	Ⅲ 後	主として防寒服、防暑服設計について。
被服構成学特論	某	Ⅲ・Ⅳ前	
被服構成学演習	柳 沢 長谷部	Ⅳ 通	被服構成学の講義に関連した演習。
服 飾 意 匠 学 実 習 第 1	石 山	Ⅲ 前	Fashion 画に重点を置く。
服 飾 意 匠 学 実 験 第 2	石 山	Ⅳ 前	Dress design の着想と意匠展開、toileを含む。
服 飾 意 匠 学 演 習 A	石 山	Ⅲ 通	Chambers. Selling Fashion Merchandies および A Fashion Manual, N.Y., 1946

科 目	教 官	学 年	内 容
服 飾 意 匠 学 演 習 B	石 山	Ⅳ 通	Broby-Johansen, Body and Clothes, N.Y., 1968 を予定。
東 洋 服 飾 史	谷 田	Ⅲ 後	中国服飾を中心とし、特にその日本への影響 関係に及ぶ。
服飾美学特講	谷 田	Ⅲ 前	近世服飾における古風と新様の問題。特に、 だて、する、いきの系譜について。
服飾美学演習	谷 田	Ⅳ 通	
美 学 特 講	谷 田	Ⅳ 通	(前 期) 美的享受の基本的構造についての省 察。 (後 期) 特に工芸造形の史的事例に基いて。
服飾史特講 A	田 実	Ⅲ 前	日本の「きもの」の原形である小袖について、 その形態、模様、生地の変遷を、主として実 証例に基いて説明(スライド併用)講義をす すめる。
服飾史特講 B	丹 野	Ⅲ 後	衣服の原始形態の類別と、その発生的特徴さ らにそれらがどのような歴史の必然によつて 変るか、西欧の具体例によつて解明を試みる。
基礎数学Ⅱ			理学部に参照
服 飾 意 匠 学 特 論 (A)	金 子	Ⅲ・Ⅳ後	造形心理を中心に展開、テキスト未定。

家庭経営学科

科 目	教 官	学 年	内 容
家政学原論	田 辺	I 前	人としての生活に於ける家庭の意義を家の機能、家族、生活慣習などの面から総合的に考えてゆく。
家庭経済学概論	伊 藤	I 前	家庭経済についての基礎的理解と家計の現状分析。
家庭管理学概論	稲 葉	II 前	家庭生活における労力と時間の使い方に関する一般論。
家族関係学概論	湯 沢	I 後	家族関係の基礎理論を、概念区分、構成、周期、社会構造、研究方法等に即して解説する。家族関係学講座全般の入門的講義。
住居学概論	浜 口	II 前	生活を包む住居が構築体として形成されるために必要な要素気候風土、社会経済家族材料技術工法等を自然科学社会科学工学の関連において考える。
家族関係学第1	湯 沢	II 前	家族関係の中核をなす夫婦、親子、兄弟、親族、同族等の内部構造の考察。テキスト、湯沢雅彦著「家族関係学」¥ 650 光生館。
家族経済学第1	伊 藤	II 後	家庭経済についての理論的考察。
家庭経営学総論	田 辺	II 前	家庭経営の理念と計画を中心として総括的に考えてゆく。
生活史第1	田 辺	II 後	総論。人の生活の歩みを、とくにいくつかのエポックをとり上げて述べ、人間の特質との関係を考える。

家政学部共通科目

科 目	教 官	学 年	内 容
児童学概論	平 井	I 前	小児保健の概要及び育児の要点について、児童学の花野・対象・方法について。
同上	津 守	I 後	児童学の扱う諸問題にふれ、児童学の諸分野について一般的な輪廓を把握するように講義する。
食物学概論	山西他	I 後	栄養・食品・調理を関連づけて講義する。
被服学概論	松川他	I 前	被服材料学、染色、整理学、服飾美学、服飾意匠学、被服構成学の概要。
家庭経営学概論	田辺他	I 後	家庭経営の理念、実践、そしてその問題点などについての概説。
住居学概論	浜 口	II 前	生活を包む住居が構築体として形成されるために必要な要素気候風土、社会経済家族材料技術工法等を自然科学社会科学工学の関連において考える。
家庭機械及び家庭工作（設計及び製図を含む）	會我部	II 前	製図の基礎、機械製図についての講義および実習と、簡単な木材加工実習。
家庭看護法	金 子	III 後	家族の健康保持、老幼弱者の養護、病人の療養生活、救急処置一般の理論と実際。テキスト：福田・木下著「最新家庭看護」¥ 560 同文書院
家庭科教育法	山 脇	III 前	家庭科教育の変遷、指導の目標、教育課程の編成、学習指導の計画、単元の設立および展開、学習指導の方法など。
調理実習	板 谷 寺 元	II	手法別、食品別系統による基本調理及び調理実験。
被服構成実習	祖父江	経 II	衣服構成に関する基礎的事項並びに基礎的技術。
同上	武井・茶 菜	児・食II	同 上

書籍目録

冊	書名	著者	刊行年	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

...

